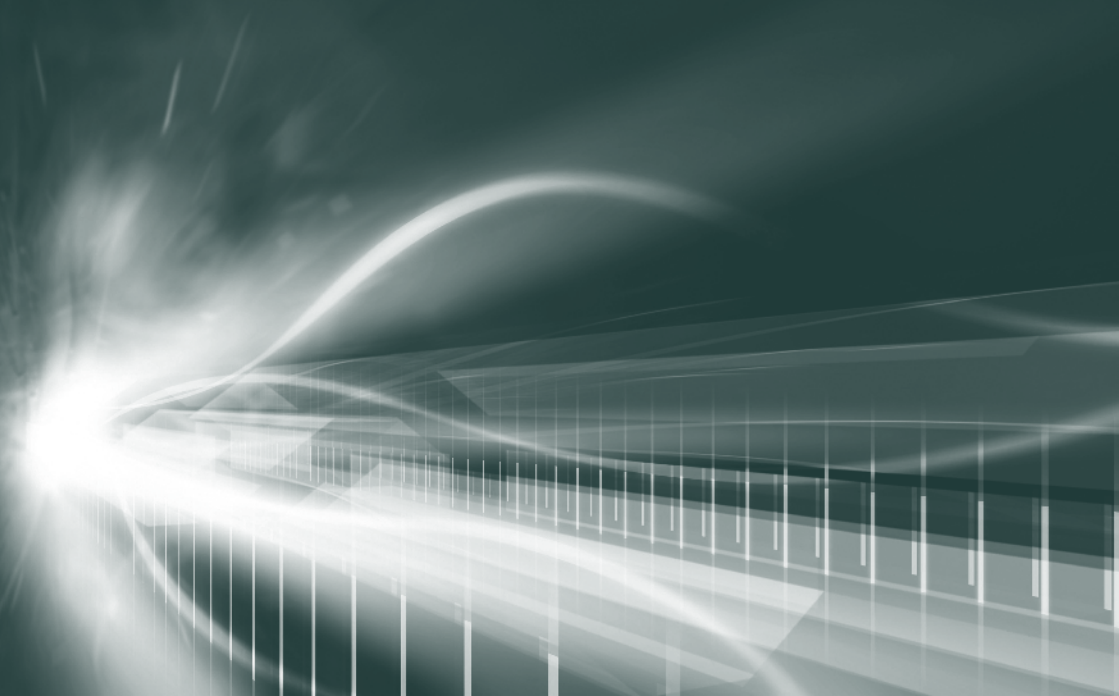




ナビゲーションシステム 取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。



このたびはナビゲーションシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ナビゲーションシステムをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

- ・ 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。
車両本体の取扱書とあわせてお読みください。
- ・ トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。
- ・ お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
- ・ ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- ・ 本書の画面の色は印刷インクの関係で、実際の画面の色とは異なることがあります。
- ・ 本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期等によって異なることがあります。

GR *Supra*



1 ナビゲーションシステム

1-1. ナビゲーションシステム

概要	4
目的地設定	6
ルート	14
地図	16
設定	23
スプリット スクリーン	26
交通情報	27
ナビゲーションデータ	30
よくある質問	31

2 エンターテインメント

2-1. エンターテインメント

一般事項	34
サウンド	36
ラジオ	38
オーディオ	40
ビデオ	48
テレビ、TV	49

3 コミュニケーション

3-1. コミュニケーション

電話	54
----------	----

4 Toyota Supra Connect

4-1. Toyota Supra Connect

Toyota Supra Connect	68
----------------------------	----

参考情報

インデックス	80
--------------	----

1-1. ナビゲーションシステム

概要.....	4
目的地設定.....	6
ルート.....	14
地図.....	16
設定.....	23
スプリット スクリーン	26
交通情報.....	27
ナビゲーションデータ.....	30
よくある質問.....	31

概要

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

機能概要

ナビゲーション システムは、人工衛星の情報を利用して、車両の位置を算定し、入力されたあらゆる目的地へ確実に案内します。ナビゲーション データは車両にメモリーされ、USB メモリーを使って更新することができます。走行中は、いくつかの例外を除いて、入力することができません。

ナビゲーション システムを呼び出す

- 1 コントローラーの  ボタンを押します。
- 2 「地図」

安全上の注意事項

⚠ 警告

- 走行中に統合インフォメーションシステムおよび通信機器を操作すると、交通状況から注意がそれるおそれがあります。車両を制御できなくなるおそれがあります。事故が発生するおそれがあります。システムや装置の操作は、交通状況が許す場合にのみ行ってください。必要な場合は車両を止め、停止状態でシステムや装置を操作してください。
- 現状の交通状況とナビゲーション案内は、ルートの変更または工事現場などにより異なる場合があります。事故が発生するおそれがあります。その時々有効な交通規則を優先してください。
- 統合された情報システムや通信機器を走行中に操作することによって、交通状況から目を離してしまうおそれがあります。それにより、車両のコントロールを失う可能性があります。事故が発生するおそれがあります。交通状況が許す場合にのみ、機器を操作するようにしてください。必要に応じて停車して、車両が動いていない状態で機器を操作してください。ナビゲーションシステムは、機能の一部を除き、走行時には操作できないように設定されています。

 警告

- 走行速度が著しく速い場合、自車位置の移動が速すぎるためにルート探索ができない場合があります。走行中に操作できない機能があります。操作を行う場合は、車両を安全な場所に停車させてから行ってください。車外の交通状況や緊急時の合図などがよく聞こえるように、車内の音量を調節してください。事故の危険があります。警察、消防、病院などの施設は、新設や移転により、表示が実際と異なる場合があります。交通事故などの緊急事態が発生した場合は、110番や119番などに連絡して、適切に行動してください。

- 本装置は、メーカー製造車両の車載専用機です。その他の環境ではご使用にならないでください。自車位置が正しく表示されないなど、機能に異常を感じた場合は、安全な場所に停車してください。本取扱説明書の最後にある「もしものときに…」の章の記述に従って対処することができます。それでも改善されない場合、あるいは対処法が記載されていない場合は、ナビゲーションシステムの使用を中止し、トヨタ販売店に点検と修理をご依頼ください。ナビゲーションシステムの修理は決して自分で行わないでください。トヨタ販売店に修理をご依頼ください。これらの注意事項を守らなかったり、取扱説明書内で禁止している操作や取り扱いに起因する事故、損害などについては、メーカーは一切の責任を負いません。本機は－20℃から＋60℃の温度範囲内で正常に作動します。前述作動温度範囲外ではシステムが作動しなくなることがあるため、使用しないでください。急激な温度変化などにより、装置内部に結露が発生して誤作動を起こす場合があります。

目的地設定

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

クイック検索

機能概要

装備に応じて、いくつかの文字列を入力することにより、周辺施設と住所をオンラインで、または車両に記憶されているナビゲーションデータで検索することができます。これらの文字列を含む全ての項目が表示されます。

知識

クイック検索は地図画面 (22 ページ参照) で直接呼び出すこともできます。

クイック検索を呼び出す

1 「地図」

- 2 コントローラーを左に傾けます。
 - 3  「目的地入力」
 - 4  「キーワード検索」
 - 5 1 字以上の文字を入力します。
 - 6 **OK** 必要に応じてシンボルを選択します。
- 項目がリストに表示されます。
- 7 コントローラーを右に傾けます。
 - 8 希望の目的地を選択します。

音声による目的地入力

知識

- 音声操作システムの説明書は、車両の取扱説明書を参照してください。
- 音声による目的地入力では、音声操作と Toyota Supra Command 間を切り替えることができます。
- 利用可能なボイスコマンドを読み上げさせます: 音声コマンド または ヘルプ。

音声入力

- 住所全体を 1 回のコマンドで話すか、あるいは国、町、道路、交差点をひとつの単語として話すことができます。このためには、システムの言語が目的地の国の言語に設定されていなければなりません。
- 設定されているシステムの言語が異なっている場合でも、住所のつづりを言うことができます。つづ

りをスムーズに話すようにして、過度に強調したり間をおいたりしないでください。

- ナビゲーション用の周辺施設は、オンラインで話し言葉により、例えば近く特定のレストランを尋ねるなどして検索することができます。
- 入力方法は各ナビゲーションデータ、国および言語設定に応じて異なります。

住所を 1 回のコマンドで入力する

- 1 ステアリングホイールの  または  ボタンを押します。
 - 2 目的地入力
 - 3 音声操作システムの照会が終わるまでお待ちください。
 - 4 提案された順番で住所を話します。
 - 5 音声操作システムが指示するとおりに設定を続けてください。
- 必要な場合は、都市などの住所を個別に話してください。

履歴

機能概要

履歴には、前回入力された目的地と前回走行したルートスタート地点がメモリーされます。

知識

前回のスタート地点は、例えば帰路で新しい目的地として選択することができます。

前回の目的地または前回のスタート地点を目的地と呼び出す

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「履歴」
- 5 「履歴」
- 6 リストを選択します：
 - 「目的地履歴」
 - 「出発地履歴」
- 7 目的地を選択します。
- 8 「新規目的地に設定」または必要に応じて目的地に関する更なる機能（13 ページ参照）を選択します。

前回の目的地とスタート地点のリストを編集する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「履歴」

5 「履歴」

6 リストを選択します：

●「目的地履歴」

●「出発地履歴」

7 必要に応じて目的地を選択します。

8  ボタンを押します。

9 必要に応じて目的地を選択します。

10「メモリ地点として保存」：目的地を記憶させます。

●「登録消去」：選択した項目が削除されます。

●「全ての目的地履歴消去」または「全ての出発地履歴を消去」：全ての既存の項目が削除されます。

記憶された目的地

自宅

自宅住所を設定する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「メモリ地点」

5 「自宅住所の設定」

6 希望する設定を選択します：

●「現在位置を自宅住所として保存」：現在の位置を自宅住所として適用します。

●「地図で設定」：地図で自宅住所を

選択します。

自宅住所を目的地として適用する

事前に自宅住所の設定を行ってください。

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「メモリ地点」

5 自宅住所を選択します。

6 「新規目的地に設定」または必要に応じて目的地に関する更なる機能（13 ページ参照）を選択します。

現在位置をメモリーする

知識

現在位置は、走行中でも、目的地入力の後でも、または地図スクロールでもメモリーすることができます。

登録

1  ボタンを押します。

2 コントローラーを押します。

3 ☆ 「メモリ地点として保存」

現在位置は、記憶された目的地のリストに記憶されます。

選択する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「メモリ地点」

5 目的地を選択します。

6 「新規目的地に設定」または必要に応じて目的地に関する更なる機能（13 ページ参照）を選択します。

編集する

記憶した目的地を自宅住所に設定する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「メモリ地点」

5 「メモリ地点編集」

6 希望する項目を選択します。

7 「マーク変更」

8 「自宅住所」

記憶された目的地を連絡先として保存したり、連絡先に追加する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「メモリ地点」

5 希望する項目を選択します。

6  ボタンを押します。

7 「新規連絡先として保存」

名称を編集する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「メモリ地点」

5 「メモリ地点編集」

6 希望する項目を選択します。

7 「名称：」

8 目的地の名称を入力します。入力方法については、車両の取扱説明書を参照してください。

マークを変更する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「メモリ地点」

5 「メモリ地点編集」

6 希望する項目を選択します。

7 「マーク変更」

8 希望する項目を選択します。

地図に名称を表示する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3  「目的地入力」

4  「メモリ地点」

5 「メモリ地点編集」

- 6 希望する項目を選択します。
- 7 「地図上に表示」

注意音

■ 機能概要

記憶された目的地に近づくと、信号音が鳴ります。記憶された目的地との距離が設定された距離になると、注意音が鳴ります。

■ 注意音を割り当てる

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「メモリ地点」
- 5 「メモリ地点編集」
- 6 希望する項目を選択します。
- 7 「サウンド」
- 8 希望する項目を選択します。

■ 注意音を鳴らす距離を設定する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「メモリ地点」
- 5 「メモリ地点編集」
- 6 希望する項目を選択します。
- 7 「距離：」
- 8 希望する項目を選択します。

電話番号、または住所を割り当てる

- 1 「地図」

- 2 コントローラーを左に傾けます。

- 3  「目的地入力」

- 4  「メモリ地点」

- 5 「メモリ地点編集」

- 6 希望する項目を選択します。

- 7 希望する設定を選択します：

- 「電話：」登録場所の電話番号を設定します。入力方法については、車両の取扱説明書を参照してください。
- 「住所：」住所を設定するための地図が表示されます。
- 「マップコード」記憶された目的地のマップコードが表示されます。

メモリー地点リストを並べ替える

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「メモリ地点」
- 5 「並べ替え：」
- 6 希望する項目を選択します。

記憶された目的地を削除する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「メモリ地点」
- 5 希望するエントリーにカーソルを合わせます。
- 6  ボタンを押します。

7 「消去」

全ての登録を削除する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「メモリ地点」
- 5  ボタンを押します。
- 6 「全てのメモリ地点を消去」

記憶された目的地をエクスポートまたはインポートする

機能概要

記憶された目的地は USB メモリーにエクスポートしたり、USB メモリーからインポートすることができます。その際、常に全ての記憶された目的地が転送され、既存の目的地が上書きされます。

USB メモリーによるエクスポート/インポート

- 1 作動スタンバイをオンにします。
- 2 イグニッションをオンにします。
- 3 USB メモリーをフロントUSBポートに接続します。
- 4 「地図」
- 5 コントローラーを左に傾けます。
- 6  「目的地入力」

7 「メモリ地点」

- 8  ボタンを押します。
- 9 希望する設定を選択します：
 - 「全メモリ地点をエクスポート (USB)」
 - 「全メモリ地点をインポート (USB)」
- 10「OK」

周辺施設

機能概要

ホテルや名所などの周辺施設の選択。

知識

周辺施設は、走行中に役立つことのある特別な場所です。レストラン、ホテル、ガソリンスタンドなどの周辺施設を目的地として取り込むことができます。最新のナビゲーション データでも個々の周辺施設に関する情報が変更されている可能性があり、例えばガソリンスタンドが営業していないことがあります。

周辺施設の選択

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「施設」
- 5 検索の種類を選択します。
「現在地周辺」
「目的地周辺」

「ルート沿い」

「その他の場所」

- 6** 必要に応じて、次のカテゴリとサブカテゴリを選択します。

周辺施設のリストが表示されます。

周辺施設をアルファベット順に、または距離の順に並べ替えることができます。

- 7** 周辺施設を選択します。
- 8** 「新規目的地に設定」または必要に応じて目的地に関する更なる機能（13 ページ参照）を選択します。

特定の鉄道路線駅

機能概要

鉄道路線名から選択した鉄道路線の駅を選択できます。

選択する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「施設」
- 5 「鉄道・高速」
- 6 並べ替えの基準を選択します。
- 7 必要に応じて地域を選択します。
- 8 鉄道路線を選択します。
- 9 駅を選択します。
- 10 「新規目的地に設定」または必要に応じて目的地に関する更なる機能（13 ページ参照）を選択します。

目的地を住所で入力する

機能概要

住所の入力により目的地を選択することができます。

選択する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「住所」
- 5 エリアを選択します。
- 6 目的地を選択します。
- 7 「新規目的地に設定」または必要に応じて目的地に関する更なる機能（13 ページ参照）を選択します。

電話番号

機能概要

目的地を、電話番号の入力により選択することができます。

電話番号を入力する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「電話番号」
- 5 市外局番と電話番号を全桁入力します。入力方法については、

車両の取扱説明書を参照してください。

6 OK シンボルを選択します。

項目がリストに表示されます。

7 目的地を選択します。

8 「新規目的地に設定」または必要に応じて目的地に関する更なる機能（13 ページ参照）を選択します。

マップコード

機能概要

マップコードにより 6 桁から 10 桁のコードでの目的地入力が容易になります。

マップコードを入力する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4  「マップコード」
- 5 マップコードを入力します。入力方法については、車両の取扱説明書を参照してください。
- 6 OK シンボルを選択します。
- 7 「新規目的地に設定」または必要に応じて目的地に関する更なる機能（13 ページ参照）を選択します。

目的地に関する機能

目的地入力の直後に、目的地に関するその他の機能を使用できます。目的地を、例えば経由地として設定したり、または地図スクロールを用いて絞り込むことができます。

-  「経由地として追加」：目的地を経由地としてルートの中に取り込みます。
- 「位置修正」：地図画面から目的地を選択します。
- 「その他の情報」：選択した目的地に応じて、詳しい情報を表示させることができます。

目的地と装備に応じて、目的地へ電話をかけるか、目的地の画像を表示することができます。

周辺施設を探す：

- 「関連施設」
 - 「駐車場および関連施設」
- 目的地をメモリー地点に登録する：
- 「メモリー地点として保存」

ルート

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

知識

ルートを計画するために、複数の経由地を入力することができます。

新規ルート

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4 個々の目的地を選択します。
- 5 経由地を入力します。
- 6  「ルート案内開始」

経由地

知識

経由地を入力する前に、個々の目

的地を設定する必要があります。

1 つのルートに対して、最大 5 個の経由地を入力することができます。

経由地を入力する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4 目的地入力方法を選択します。
- 5 目的地を選択します。
- 6 「経由地として追加」
- 7 希望する位置に経由地を挿入します。

経由地を編集する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「ルート案内」
- 4 経由地を選択します。
- 5 希望する設定を選択します：
 - 「目的地スキップ」：現在の経由地をスキップします。
 - 「ルート案内開始」：経由地までのルート案内を開始します。
 - 「ルート探索条件」：ルートの基準を決めます。
 - 「並べ替え」：リスト内の経由地の順序を変更します。
 - 「目的地消去」：経由地を削除します。

メモリーされたルート**機能概要**

最大 30 のルートをルート リストに保存することができます。新しいルートを保存できるようにするために、必要に応じて既存のルートを削除してください。

登録

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「ルート案内」
- 4 「トリップを登録」
- 5 名称を入力します。
- 6 **OK** シンボルを選択します。

選択する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4 「トリップ」
- 5 ルートを選択します。
- 6 「トリップ編集」または「ルート案内開始」

削除する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」

4 「トリップ」

- 5 必要に応じて、希望するルートにカーソルを合わせます。

- 6  ボタンを押します。

- 7 「全てのトリップを消去」または「トリップ消去」

前回のルート**機能概要**

前回走行した目的地が自動的に保存されているので、再び呼び出すことができます。

呼び出す

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4 「トリップ」
- 5 「最後に設定したトリップ」
- 6 必要に応じて、他の経由地を選択します。
- 7 「トリップ編集」または「ルート案内開始」

USB メディアによるルートのインポート/エクスポート**知識**

USB メモリーおよびナビゲーション システムには、合わせて 30 以上のルートがメモリーされていてはいけません。メモリーされていると、インポートができません。

インポートする

- 1 USB メモリーをフロントUSB ポートに接続します。
- 2 「地図」
- 3 コントローラーを左に傾けます。
- 4  「目的地入力」
- 5 「トリップ」
- 6 「トリップインポート (USB)」

ルートをエクスポートする

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「目的地入力」
- 4 「トリップ」
- 5  ボタンを押します。
- 6 「全てのトリップ°をエクスポート (USB)」

地図

車両装備

このチャプターでは、モデル シリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

地図を呼び出す

「地図」



地図はコントローラーのボタンで直接呼び出すこともできます。

概要

知識

地図は Toyota Supra Command で操作することができます。

入力方法については、車両の取扱説明書を参照してください。

警告

- 現状の交通状況とナビゲーション案内は、道路形状の変更または工事現場などにより異なる場合があります。事故の危険があります。その時々ので有効な交通規則を優先してください。

終了する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  シンボルを選択します。
- 4 「ルート案内終了」

ルート案内の設定

ルート案内用に詳しい設定を行うことができます。ルート案内の設定 (23 ページ参照)。

ルートを変更する

ルート探索条件

知識

計算されるルートは、そのとき選択されている探索条件により変化します。提案されたルートは、予期していたルートとは異なる場合があります。

ルート探索条件の標準設定

ルート探索条件を好みに応じて設定できます。

設定は標準として記憶され、新しいルート案内のときに自動的に引

き継がれます。

ルートの標準設定 (23 ページ参照)。

ルート案内がオンの場合：地図画面のルート探索条件を変更する

ルート案内がオンの場合に、地図画面で現在の目的地のルート探索条件を変更することができます：

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3   「ルート」
- 4 希望する項目を選択します。

代替ルート

機能概要

ルート案内がオンのとき、可能であれば代替ルートが提案されます。

代替ルートを表示させる

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3   「ルート」

現在のルートと提案可能な代替ルートのリストが表示されます。さらに走行時間やルート距離などの詳細、また代替ルートの場合は必要に応じて現在のルートと比べた消費量に関するデータが表示されます。

スプリット スクリーンにはルートがカラー表示されます。

- 4 代替ルートを選択して、ルートをルート案内に適用します。

ルート情報

機能概要

装備に応じて、ルート案内中に、目的地までのルートをつかの画面で表示させることができます：

- ルート区間のリスト。
- 地図画面（17 ページ参照）。
- 地図上のルート案内情報（23 ページ参照）。
- スプリットスクリーンの矢印表示（26 ページ参照）。
- メーターパネルの矢印表示。
- ヘッドアップディスプレイの矢印表示。

ルート区間のリスト

■ 機能概要

ルート案内がオンになっている場合、ルート区間のリストを表示させることができます。

■ 知識

ルート区間ごとの走行距離が表示されます。必要な場合は、給油または充電の推奨も表示されます。

■ 表示

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「ルート」
- 4 「ルート情報」
- 5 ルート区間をマークします。

スプリット スクリーンにルート区間が表示されます。

給油の推奨

■ 機能概要

残りの航続可能距離が算出されて、必要に応じてルート沿いのガソリンスタンドが勧められます。

■ 知識

最新のナビゲーションデータを用いても個々のガソリンスタンドに関する情報が変更されている可能性があり、例えばガソリンスタンドが営業していないことがあります。

給油の推奨はルート区間のリストに表示されます。

■ 呼び出す

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。

3  「ルート」

4 「ルート情報」

5  「給油」

ガソリンスタンドのリストが表示されます。

6 ガソリンスタンドにカーソルを合わせます。

スプリット スクリーンにガソリンスタンドの位置が表示されます。

7 ガソリンスタンドを選択します。

8  シンボルを選択します。

9 「ルート案内開始」

高速道路の入口 / 出口を手動で選択する

- 1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3   「ルート」

4  「ルート変更」

5 希望する設定を選択します：

- 「高速道路入口」：高速道路入口を手動で選択します。
- 「高速道路出口」：高速道路出口を手動で選択します。

ルート情報を変更する

■ 機能概要

ルート案内がオンの場合に、地図上に表示されるルートを手動で調整することができます。このためには、ルート上のマーキングポイント、つまりルート マグネットを使用してルート我希望する方向に動かします。

■ ルート マグネットをセットする

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3   「ルート」
- 4  「ルート変更」
- 5 「ルートマグネット設定」
- 6 地図スクロールの場合と同様に、コントローラーでルート マグネットを希望する場所の上に動かします：
- 縮尺を変更する：コントローラーを回します。
- 地図を上下左右にスクロールさせる：コントローラーを対応する方向に傾けます。
- 地図を斜めにスクロールさせる：

コントローラーを対応する方向に傾け、コントローラーを回します。

7 コントローラーを押します。

8 「マグネット適用」

■ ルート マグネットを編集する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3   「ルート」

4  「ルート変更」

5 希望する設定を選択します：

- 「ルートマグネット変更」：変更したルートをもう 1 度変更します。
- 「ルートマグネット削除」：元のルートが再び確立されます。

ルート案内のシミュレーション

■ 機能概要

車両が停止しており、ルート案内が作動している場合は、走行ルートをシミュレーションすることができます。

■ 呼び出す

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3   「ルート」
- 4 「ルートシミュレーション」

ルートが地図に表示されます。

■ 機能と設定

その他の機能と設定を呼び出すには、コントローラーを左に傾けます。

シンボル	機能
	「シミュレーション開始」
	「シミュレーション停止」
	「速度」
	「シミュレーション再開」
	「地図表示」

音声案内

オン / オフにする

現在使用しているドライバー プロファイルに対して、設定内容が記憶されます。

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「音声案内」

繰り返す

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを押します。
- 3 「音声案内リピート」

ボタンから：



ボタンを 2 回押します。

音量調節

音声案内が再生中に、希望の音量に調節されるまで音量ボタンを操作します。

プログラマブル ボタンに登録する

音声案内機能のオン / オフは、素早くアクセスできるようにプログラマブル ボタンに登録することができます。

地図画面

機能概要

地図画面を、例えばノースアップやヘディングアップなど、さまざまな視点で表示させることができます。

地図用のその他の設定 (25 ページ参照)。

地図画面を選択する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3    「地図表示」
- 4 希望する設定を選択します：

-  「ノースアップ」
-  「ヘディングアップ」
-  「3D」
-  「全ルート図」：現在地と目的地間の距離を表示します。
-  「施設」：周辺施設のシンボルが表示されます。
-  「渋滞規制情報」：交通情報のシンボルおよび渋滞情報の線が表示されます。特定の交通情報の場合、該当する地域が地図中で赤く表示されます。

-  「駐車場空き情報」：空いている駐車場が地図に表示されます。
-  「サテライト画像」：利用可能性と解像度に応じて、衛星画像がいくつかの縮尺で背景に表示されます。

地図画面の機能

機能概要

地図の任意のポイントに関してさまざまな情報を呼び出し、設定を行うことができます。この場合は地図を Toyota Supra Command で操作することができます。

コントローラーによる操作

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「地図スクロール」
- 4 目的地を十字線で選択します。
 - 縮尺を変更する：コントローラーを回します。
 - 地図を上下左右にスクロールさせる：コントローラーを対応する方向に傾けます。
 - 地図を斜めにスクロールさせる：コントローラーを対応する方向に傾け、コントローラーを回します。
- 5 コントローラーを押します。
- 6 希望する項目を選択します。

機能

地図上で選択したポイントに応じて、さまざまな機能を使用できま

す：

-  「クイック検索」：クイック検索を呼び出します。
-  「ルート案内開始」：ルート案内を開始します。
-  「経由地として追加」：目的地を追加します。
-  「詳細表示」：必要に応じて目的地に関する詳細を表示させることができます。
-  「詳細表示」：複数の周辺施設がある場所の上に十字ポインターがある場合、これらはひとつのリストに表示されます。
- 「ビル情報」：建物情報を表示します。
- 「駐車場 / 関連施設」：周辺施設検索を開始します。
- ☆ 「メモリ地点として保存」：十字ポインターが指す地点を目的地として記憶させます。
-  「地図スクロール終了」：コントローラーによる操作の場合：地図スクロールを終了します。
- タッチスクリーン付き装備の場合：
 -  「現在地に戻る」：通常の地図画面に切り替えます。

設定

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

知識

ナビゲーション システムの設定を個別に構成することができます。設定は、そのとき使用しているドライバー プロファイルに記憶されます。

ルート案内

設定

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「ルート案内設定」
- 5 希望する設定を選択します：
 - 「音声案内」
 - ・ 「詳細音声案内」

- ・ 「簡略な音声案内」
- ・ 「確認音」
- 「交差点拡大図」：交差点が自動的に拡大されます。
- 「レーンガイダンス」：車線情報が表示されます。
- 「ルート案内マーク」：ルート案内情報を地図上に表示します。
- 「都市高速簡易地図表示」：比較的大きな都市の場合、都市高速簡易マップおよび現在の交通状況が表示されます。
- 「ETC ゲート案内」：ETC ゲートのある車線が表示されます。
- 「方面看板」：現在有効なルート案内を行わない走行の場合のみ。選択された交差点 / 分岐点でポイントが表示されます。
- 「一般的な警告」：幅員減少などの一般的な警告が表示されます。

ルート案内情報

知識

複数車線の道路の場合、車線情報が必要に応じて推奨する車線を表示します。

ルート案内情報は、スプリット スクリーンに矢印表示 (26 ページ参照) させることもできます。

ルート

機能概要

ルート探索条件を好みに応じて設定できます。設定は標準として記憶され、新しいルート案内のときに自動的に引き継がれます。

標準探索条件

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「ルート設定」
- 5 「ルート探索条件」
- 6 希望する設定を選択します：
 - 「ECO」または「エフィシエント」：燃費を重視したルート。できるだけ燃料消費を抑えて、渋滞なく走行できるルート。到着予想時刻と燃費は、走行モード ECO での走行および控えめなドライビングスタイルにもとづいています。
 - 「短距離」：距離を重視したルート。できるだけ距離を短くして、渋滞なく走行できるルート。
 - 「推奨」：できるだけ短い距離と渋滞なく走行できるルートとの組み合わせによる短い所要時間。
可能な場合、これらの特徴にも代替ルートが提供されます。
 - 「高速道路」：可能な場合、高速道路が優先されます。
 - 「有料道路回避」：可能な場合、有料高速道路が回避されます。

その他の基準

調節

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「ルート設定」

5 希望する設定を選択します：

- 自動適正ルート探索の設定：
 - ・「自動」：ルート案内の際に交通情報が考慮されます。現在のルートが必要に応じて変更されます。
 - ・「手動確定」：適切な迂回路がある場合、まずメッセージが表示されます。
 - ・「オフ」：自動適正ルート探索をオフにします。
- 「別のルート表示」：ルート案内の開始後、利用可能な代替ルートを地図上に表示します。
- 「ルート学習」：提案されたルートから何度が同じように逸れた場合、今後のルート探索の際にこの逸脱が考慮されます。
- 「フェリー回避」：できるだけフェリーが回避されます。

回避エリア

■ 機能概要

迂回したほうがよいエリアを回避エリアとして設定することができます。

■ 回避エリアをセットする

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「ルート設定」
- 5 「回避エリア」
- 6 「新規回避エリア設定」
- 7 コントロールディスプレイに表示された指示に従います。
- 8 「OK」

■ 回避エリアを削除する

- 1 「地図」

- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「ルート設定」
- 5 「回避エリア」
- 6 必要に応じて希望する回避エリアを選択します。
- 7  ボタンを押します。
- 8 希望する回避エリアまたは全ての回避エリアを削除します。

地図

機能概要

地図画面は個別に設定することができます。例えば、地図の色や地図モードの設定を行うことができます。さらに、どの周辺施設を地図に表示させるかを決めることができます。

地図を調節する

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「地図設定」
- 5 希望する項目を選択します。

ナビゲーション データ

機能概要

現在位置検知のための情報とナビゲーションデータのバージョンを呼び出すことができます。

調節

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「位置とバージョン」
- 5 希望する設定を選択します：
 - 「GPS 情報」：衛星受信と現在の位置に関する情報。
 - 「位置の入力」：GPS が受信できない状況またはフェリーでの移動直後は、車両の位置を手動で地図上に設定することができます。
 - 「バージョン情報」：現在の地図バージョンに関する情報。

設定をリセットする

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4  ボタンを押します。
- 5 「ナビ設定を全てリセット」

スプリット スクリーン

車両装備

このチャプターでは、モデル シリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

機能概要

装備に応じて、分割画面表示の右側、いわゆるスプリット スクリーンには、いくつかのメニューで追加情報を表示することができます。スプリット スクリーンでは、メイン画面から独立してさまざまな画面を設定することができます。

設定

- 1 スプリット スクリーンが選択されるまで、コントローラーを右に傾けます。
- 2 コントローラーを押します。
- 3 希望する設定を選択します：
 - 「地図」：地図画面を設定します。
 - 「矢印表示」：ルート案内がオンのときは、矢印表示があります。ルート案内がオンになっていない

場合は、コンパスが表示されます。

- 「位置情報」：現在の位置を表示します。
- 「都市高速簡易地図」：大都市内での走行中は、都市高速簡易マップが表示されます。

矢印表示

機能概要

ルート案内がオンのとき、ルート案内情報のリストをスプリット スクリーンに表示させることができます。

知識

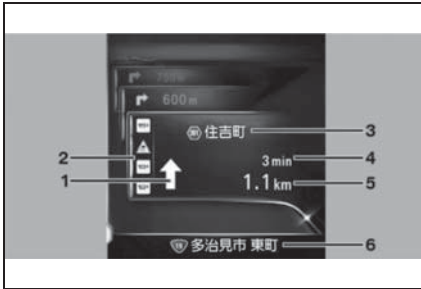
矢印表示でさらにどの情報を表示させるかを設定することができます。

調節

- 1 スプリット スクリーンが選択されるまで、コントローラーを右に傾けます。
- 2 コントローラーを押します。
- 3 「矢印表示」
- 4 希望する設定を選択します：
 - 「交通情報」：渋滞情報と交通事象を表示します。

表示

ルート案内中に次の情報が表示されます：



- 1 右左折の情報
- 2 渋滞情報と交通事象
- 3 次の道路
- 4 操作地点までの時間
- 5 操作地点までの距離
- 6 現在の道路

国別仕様に応じて、表示が図と異なる場合があります。

交通情報

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

知識

- 交通情報は VICS（車両インフォメーションおよび通信システム）によって送信されます。
- VICS に関する詳細：
www.vics.or.jp
 電話：0570-00-8831
- 交通情報は常に更新されます。これにより、システムは道路交通状況や道路上の危険度の高い情報について、迅速に通知することができます。
- 交通情報は自動的に地図画面に表示され、ルート案内時に考慮されます。
- 地図画面やリストに交通情報を表示します。

情報には次の種類があります：

- 文字情報
- 図形情報

● 地図情報

緊急時に VICS センターから発信される「緊急情報」が表示される場合は、表示の内容に従ってください。

交通情報を表示する

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3 「交通情報 (VICS/ITS)」

交通情報通知のリストおよび最後に交通情報を受信した時刻が表示されます。

4 希望する設定を選択します：

- 「テキスト交通情報」：メッセージまたは渋滞などの情報がテキストで表示されます。
- 「エリア別の図形交通情報」：メッセージまたは渋滞などの情報が図で表示されます。
- 「緊急情報」：緊急情報が表示されます。

表示された交通情報を再び呼び出す

1 「地図」

2 ボタンを押します。

3 「交通情報再表示」

地図に交通情報を表示させる

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3 「地図表示」

4 設定を選択します。

-  「渋滞規制情報」：交通情報のシンボルおよび渋滞情報の線が表示されます。

特定の交通情報の場合、該当する地域が地図中で赤く表示されます。

- 「駐車場空き情報」：空いている駐車場が表示されます。

地図画面を設定する

その地域に最適な放送局が自動選択されます。

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3 「設定」

4 「地図設定」

5 「地図表示内容」

6 設定を選択します：

- 「交通状況表示」
 - ・ 「高速道路のみ」：高速道路の交通情報。
 - ・ 「一般道のみ」：有料道路以外の全ての交通情報を表示します。
 - ・ 「全ての道路」：全ての交通情報を表示します。
- 「渋滞情報」：
 - ・ 「全交通情報表示」
 - ・ 「渋滞のみ」
 - ・ 「渋滞と混雑のみ」

VICS の設定

1 「地図」

2 コントローラーを左に傾けます。

3 「設定」

4 「交通情報 (VICS/ITS)」

5 希望する設定を選択します：

- 「緊急情報」：緊急情報が利用可能な場合に通知を表示します。
- 「交通情報」：一般情報が利用可能な場合に通知を表示します。

地図内の交通情報

機能概要

以下の情報が表示されます：

- ルートに関する交通情報。
- 交通情報用シンボル。

地図画面のシンボル

5km までの縮尺：交通情報のシンボルが地図画面に表示されます。

100km までの縮尺：特定の交通情報の場合、該当する地域が地図中で赤く表示されます。

渋滞の長さや影響が、ルート情報の横に色で示されます。

カラー	意味
緑色	交通渋滞なし
黄	交通がやや渋滞している
赤	渋滞

図略図上の VICS 情報

予定されたルートが区間ごとに分割されます。各区間に VICS 情報が表示されます。

自動適正ルート案内

自動適正ルート探索によって、ルート算出に交通情報が考慮されます。

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「ルート設定」
- 5 「ダイナミックガイダンス」
- 6 設定を選択します：

- 「オフ」：ルート計算の際に交通情報は考慮されません。
- 「手動確定」：交通障害を迂回するルートを取るかどうかの通知が表示されます。
- 「自動」：ルートは自動的に交通障害を迂回します。

道路交通情報のための記号

シンボル	意味
	事故。
	故障車。
	路上障害。
	工事。
	路面凍結。
	作業。
	通行止め。
	片側交互交通。
	スノー チェーン装着義務。
	進入禁止。

シンボル	意味
	駐車場： 青：空きが十分にある。 赤：満車。 オレンジ：空きがわずかしかない。 黒：空き具合が不明。
	対面通行。
	車線規制。
	速度制限。
	徐行。
	高速入口閉鎖。
	高速出口閉鎖。
	高速入口制限。
	大型通行止め。
	災害警告。 該当する地域が地図中で赤く表示されます。
	悪天候。 該当する地域が地図中で赤く表示されます。
	危険。 該当する地域が地図中で赤く表示されます。

ナビゲーションデータ

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

機能概要

現在位置検知のための情報とナビゲーションデータのバージョンを呼び出すことができます。

設定

- 1 「地図」
- 2 コントローラーを左に傾けます。
- 3  「設定」
- 4 「位置とバージョン」
- 5 希望する設定を選択します：
 - 「GPS 情報」：衛星受信と現在の位置に関する情報。
 - 「位置の入力」：GPS が受信できない状況またはフェリーでの移動直後は、車両の位置を手動で地図上に設定することができます。
 - 「バージョン情報」：現在の地図

バージョンに関する情報。

よくある質問

車両装備

このチャプターでは、モデル シリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

よくある質問

次の内容に該当する記載がない場合、または症状が改善されない場合には、トヨタ販売店にお問い合わせください。

● 画面が表示されない

コントロールディスプレイが「画面表示オフ」になっている場合：

MENU ボタンを押してください。

コントロール ディスプレイのメニューの画面などは表示されるが、ナビゲーションの画面が表示されない場合：

コントロールディスプレイがシステムを認識していません。トヨタ販売店に点検および修理をご依頼ください。

● GPS が測位をしない

ビルの谷間、トンネル、高架の下など電波の届かない場所に停車している場合は、車両を移動させてください。

GPS アンテナの上や周囲に物を置くな
どして電波がさえぎられている場合は、
障害物を取り除いてください。

車内で携帯電話や無線機などを使用し
ている場合は、使用を終えて GPS が測位
するまで、しばらくお待ちください。

GPS 衛星自体が電波を発信していない
場合もありますので、時間をおいて
GPS の測位を確認してください。

● 自車位置が正しくない

イグニッションをオフにした状態で車両
を移動したり、向きを変えたりした
(フェリー、カートレイン、ターンテーブ
ルなど) 場合が考えられます。

GPS が測位するまで、しばらく待つか、
自車位置によっては移動をしてください。

● 測定誤差が大きい

2 次元測位状態など、中継サテライトの
受信状態が悪い場合があります。

周囲に大きな構造物がない場所まで移動
してみてください。

● 走行中に操作ができない

安全上の配慮から、あらかじめ設定して
ある地点への再検索、ナビゲーション中
止などの一部の機能を除いて走行中は操
作できません。

● VICS を受信しない

VICS の選局機能で一般放送局を選局し
ていないか確認してください。

VICS を受信するためには、FM 多重放
送を受信する必要があります。

2-1. エンターテイメント

一般事項	34
サウンド	36
ラジオ	38
オーディオ	40
ビデオ	48
テレビ、TV	49

一般事項

車両装備

このチャプターでは、モデル シリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

操作ボタン

ボタンと機能

ボタン	機能
	押す：音声出力のオン / オフ。 回す：音量の調節。
	エンターテインメント ソースの切り替え。
	1 回押す：放送局 / トラックの切り替え。 押し続ける：トラックの早送り / 早戻し。
	プログラマブル ボタン。
	交通情報。

音声出力

安全上の注意事項

⚠ 警告

- 音声出力の音量が大きいと聴覚を損傷するおそれがあります。けがをするおそれがあります。音量を高く調節しないでください。

音量と音声出力

- 音量を調節するには、ボタンを回します。



- 音声出力をオフにするには、ボタンを押します。もう一度押すと、オフにする前の音量で音声が出力されます。

オーディオ録音の再生は、ミュートへの切り替え中に一時停止されます。

エンターテインメント ソース

機能概要

使用可能なエンターテインメント ソース：

- ラジオ (38 ページ参照)。
- 音楽ライブラリ (40ページ参照)。
- USB オーディオ (43 ページ参照)。
- USB ビデオ (48 ページ参照)。
- Bluetooth オーディオ (44 ページ参照)。
- テレビ、TV (49 ページ参照)。
- Apple CarPlay (72ページ参照)。

エンターテイメント ソースの切り替え

操作ボタンから：

- 1 **MODE** ボタンを押します。

現在再生可能な全エンターテイメントソースのリストが表示されます。

- 2 **MODE** ボタンを再度押して、エンターテイメント ソースを選択します。

Toyota Supra Command から：

- 1 「マルチメディア」

再生可能な全エンターテイメント ソースのリストが表示されます。

- 2 希望するエンターテイメント ソースを選択します。

コントローラーのボタンから：

- 1 **MEDIA** ボタンを押します。

最後に選択したエンターテイメント ソースが再生されます。

- 2 **MEDIA** ボタンをもう一度押します。

現在再生可能な全エンターテイメントソースのリストが表示されます。

- 3 希望するエンターテイメント ソースを選択します。

緊急警報放送

機能概要

緊急警報放送は、悪天候時および地震、津波、洪水などの自然災害の場合に警告を発します。

実際に警告が出た際には、コント

ロール ディスプレイに通知が表示されます。

この警告が出ている間は、警告が定期的に更新され、必要に応じてメッセージが表示されます。

警告メッセージを表示する

- 1 「マルチメディア」
- 2 「テレビ」
- 3 コントローラーを左に傾けます。
- 4  「緊急警告システム」

最新の警告が表示されます。

コントロール ディスプレイの表示

シンボル	機能
	警告を読み上げます。
	TV を表示します。

サウンド

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

知識

設定は、現在使用されているドライバークロファイルに記憶されます。

高音、低音、バランス★、フェーダー★

- 1 「マルチメディア」
- 2 「サウンド」
- 3 希望する設定を選択します：
 - 「高音」：高音設定。
 - 「低音」：低音設定。
 - 「バランス」：左 / 右音量配分。★
 - 「フェーダー」：前 / 後音量配分。★
- 4 調節：コントローラーを回します。

- 5 メモリー登録：コントローラーを押します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

サラウンド再生

機能概要

サラウンド オン時、ステレオのオーディオトラックを再生するとサラウンド再生がシミュレートされます。

オン / オフにする

- 1 「マルチメディア」
- 2 「サウンド」
- 3 「サラウンド」

イコライザー

装備に応じて、この機能が使用できない場合があります。

個々の音響周波数範囲の設定。

- 1 「マルチメディア」
- 2 「サウンド」
- 3 「イコライザー」

イコライザー画面の左縁および右縁には、現在の低音および高音の設定（36 ページ参照）が表示されています。これらの値はイコライザーでも設定することができます。高音および低音の音質設定はイコライザーの音響周波数範囲の設定に影響を与えます。

高音、低音、周波数範囲を選択し、設定してください。

- 1 コントローラーを回して、設定したい音響周波数範囲を選択します。
- 2 コントローラーを押します。
- 3 コントローラーを回して、周波数を設定します。
- 4 コントローラーを押して、設定を記憶します。

音量設定

機能概要

速度が上がるにつれて大きくなる走行音を補正するために、自動音量増機能を設定することができます。

自動音量増機能を設定する

- 1 「マルチメディア」
- 2 「サウンド」
- 3 「音量設定」
- 4 希望する設定を選択します：
 - 「ナビゲーション」：エンターテイメントの音量に対する音声案内の音量。
 - 「ASL（自動音量）」：速度に対するエンターテイメントの音量。
 - 「クリアランスソナー」：エンターテイメントの音量に対するクリアランスソナーの信号音の音量。

基本設定では、どの音量の場合でも信号音が聞こえるように設定されています。

- 「確認音」：エンターテイメントの音量に対するシートベルト警告などの信号音の音量。

基本設定では、どの音量の場合でも信号音が聞こえるように設定されています。

- 「マイクロフォン」：通話中のマイクロフォンの感度。

設定は通話中に行われ、使用している携帯電話用に記憶されます。

- 「スピーカー」：通話中のスピーカーの音量。

オーディオ録音の再生は、ミュートへの切り替え中に一時停止されます。

設定は通話中に行われ、使用している携帯電話用に記憶されます。

- 5 調節：コントローラーを回します。
- 6 メモリー登録：コントローラーを押します。

音質設定をリセットする

音質設定を初期設定にリセットします。

- 1 「マルチメディア」
- 2 「サウンド」
- 3 「リセット」

ラジオ

車両装備

このチャプターでは、モデル シリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

知識

設定は、現在使用されているドライバー プロファイルに記憶されます。

AM/FM 放送局

知識

装備と国別仕様に応じて、AM 放送局を受信できない場合があります。

放送局を選択する

- 1 「マルチメディア」
- 2 「FM」または「AM」

最後に聞いていた放送局が再生され、放送局リストが表示されます。

- 3 登録したい放送局を選択します。

放送局を変更する

操作ボタンから：



左か右のボタンを押します。

放送局リストの前の / 次の放送局が再生されます。

放送局を登録する

知識

選択した放送局の記号は、その放送局がすでに再生されたことを示しています。

シンボル	意味
☆	放送局は記憶されていません。
☆	放送局はすでに記憶されています。

再生した放送局をメモリーする

- 1 「マルチメディア」
- 2 「FM」または「AM」
- 3 コントローラーを左に傾けます。
- 4 ☆ 「放送局登録」
メモリーリストが表示されます。
- 5 登録したい場所を選択します。

再生していない放送局をメモリーする

- 1 「マルチメディア」
- 2 「FM」または「AM」

- 3 登録したい放送局にカーソルを合わせます。
- 4 メモリー リストが表示されるまで、コントローラーを押し続けます。
- 5 登録したい場所を選択します。
放送局を、プログラマブル ボタンにメモリーすることもできます、車両の取扱説明書を参照。

放送局の手動選局

周波数を指定して選局します。

- 1 「マルチメディア」
- 2 「FM」 または 「AM」
- 3 コントローラーを左に傾けます。
- 4  「マニュアル選局」
- 5 周波数を選択する：コントローラーを回します。
- 6 周波数記憶：コントローラーを押します。

プリセット放送局

知識

40 個の放送局をメモリーすることができます。

放送局を選択する

- 1 「マルチメディア」
- 2 「プリセット放送局」
- 3 登録したい放送局を選択します。

プリセット放送局の削除

- 1 「マルチメディア」
- 2 「プリセット放送局」
- 3 削除する放送局を選択します。
- 4  ボタンを押します。
- 5 「登録消去」

ラジオ情報

作動させる / 作動解除する

- 1 「マルチメディア」
- 2 「ラジオ情報」
- 3 道路交通情報放送局を選択する

オーディオ

車両装備

このチャプターでは、モデル シリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

機能概要

音楽トラック、オーディオ ブック、ポッドキャストを再生することができます。音声出力は、車両スピーカーを通して行われます。

設定は、そのとき使用しているドライバ プロファイルに記憶されます。

装備に応じて、以下のオーディオソースを使用できます：

シンボル	意味
	音楽ライブラリ。
	USB 機器。
	スマートフォン用の音楽インターフェース。
	Bluetooth オーディオ。

音楽ライブラリ

機能概要

USB メディアのトラックは、車両の音楽ライブラリに保存して、再生することができます。

- 圧縮オーディオ ファイル入り
USB 機器：USB メモリーの再生可能な全てのオーディオ ファイルが、USB 機器の名称が付いたフォルダに保存されます。トラックおよびディレクトリは後で名称を変更したり、削除したりできます。音楽ライブラリを管理します (41 ページ参照)。

コピーガード、Digital Rights Management DRM を有するトラックは保存されますが、再生できません。

ハードディスクで障害が発生した場合は保存されている音楽が失われるおそれがあるので、音楽ライブラリは定期的にバックアップしてください (42 ページ参照)。

USB 機器から保存する

- 1 USB 機器 (43 ページ参照) を USB ポートに接続します。
- 2 「マルチメディア」
- 3 「USB」
または：USB 機器の名称を選択します。
- 4 コントローラーを左に傾けます。
- 5  「音楽のインポート」

オーディオデータが音楽ライブラリに保存されます。

取り込んでいる間、次のことに注

意してください：

- 保存処理が中断されないように、保存中は USB 機器を取り外さないでください。
- その後は USB 機器のトラックを聴くことができます。
- 他のオーディオソースに切り替えることができます。

USB 機器からの保存を中止する

1 「マルチメディア」

2 「USB」

または：USB 機器の名称を選択します。

3 コントローラーを左に傾けます。

4  「音楽インポートのキャンセル」

メモリー処理が中断されます。

USB 機器からの保存を再開する

1 「マルチメディア」

2 「USB」

または：USB 機器の名称を選択します。

3 コントローラーを左に傾けます。

4  「音楽のインポート」

音楽ライブラリを選択する

1 「マルチメディア」

2 「音楽ライブラリ」

再生についての詳しい説明 (44 ページ参照)。

音楽ライブラリを管理する

ファイルまたはトラックの名称を変更する

アルバムが名称が付いたファイル名を変更しても、個々のトラックのトラック情報のアルバム名は変わりません。

トラック名を変更する場合、そのファイル名は変わりますが、トラック情報に保存されているトラック名は変わりません。

1 「マルチメディア」

2 「音楽ライブラリ」

3 コントローラーを左に傾けます。

4  「メディア検索」

5 「フォルダ検索」

最上位のディレクトリ レベルのファイルとトラックが表示されます。

6 希望するファイルまたはトラックをマークします、場合によってはサブ ディレクトリで検索します。

7  ボタンを押します。

8 「フォルダ名変更」または「トラック名の変更」

現在の名称が表示されます。

9 希望する名称に変更します。

10  シンボルを選択します。

ファイルまたはトラックを削除する

トラック再生中は、ファイルを削除できません。

再生中のトラックは削除できません。

- 1 「マルチメディア」
- 2 「音楽ライブラリ」
- 3 コントローラーを左に傾けます。

- 4  「メディア検索」
- 5 「フォルダ検索」

最上位のディレクトリ レベルのファイルとトラックが表示されます。

- 6 希望するファイルまたはトラックをマークします、場合によってはサブディレクトリで検索します。

- 7  ボタンを押します。

- 8 「フォルダ消去」または「トラック消去」

メモリー空き容量を表示させる

- 1 「マルチメディア」
- 2 「音楽ライブラリ」
- 3  ボタンを押します。
- 4 「音楽ライブラリ管理」
- 5 「メモリの空き容量」

選択したトラックを削除する

- 1 「マルチメディア」
- 2 「音楽ライブラリ」
- 3  ボタンを押します。
- 4 「音楽ライブラリ管理」
- 5 「選択したトラックの消去」

ミュージック検索が表示されます。検索基準 (45 ページ参照) についての説明に基づいて行います。

検索基準に基づいて、削除するトラックのリストが作成されます。

- 6 トラックを選択します。

全てのトラックを削除する

- 1 「マルチメディア」
- 2 「音楽ライブラリ」
- 3  ボタンを押します。
- 4 「音楽ライブラリ管理」
- 5 「全てのトラック消去」
- 6 「OK」

音楽ライブラリをバックアップする

ハードディスクが故障した場合は保存されている音楽が失われるおそれがあるので、音楽ライブラリは定期的に USB 機器にバックアップしてください。

保存の際には USB 機器に十分な空き容量があるか確認してください。

トラックのデータ サイズと数により、音楽ライブラリのバックアップに比較的多くの時間がかかる場合があります。そのため、この保存作業は、長距離を走行する際に適しています。バックアップを完了できない場合、USB 機器を抜き取らないでください。次の走行時にバックアップが再開されます。

- 1 USB 機器 (43 ページ参照) を USB ポートに接続します。
- 2 「マルチメディア」
- 3 「音楽ライブラリ」
- 4  ボタンを押します。

- 5 「音楽ライブラリ管理」
- 6 「音楽ライブラリを USB に保存」

音楽ライブラリを再構成する

USB 音楽ライブラリから再構成する場合、車両の既存の音楽ライブラリが上書きされます。この保存作業は、長距離を走行する際に適しています。保存処理を中断する場合、USB 機器を抜き取らないでください。次の走行時に保存が再開されます。

- 1 USB 機器 (43 ページ参照) を USB ポートに接続します。
- 2 「マルチメディア」
- 3 「音楽ライブラリ」
- 4  ボタンを押します。
- 5 「音楽ライブラリ管理」
- 6 「USB の音楽ライブラリ復元」

USB 機器

再生可能なフォーマット

MP3、MP4、M4A、M4B、AAC、WMA。

お客様が使用しているエンコーダソフトや音楽ファイルの仕様によっては、認識や再生ができない場合があります。

Apple iPod/iPhone

Apple iPod/iPhone のトラック検索と音楽再生がサポートされます。

USB ポート付きのオーディオプレーヤーおよび記憶メディア

全てのトラックの情報（例えば、アーティスト、ジャンル、タイトル）や再生リストが車両に転送されます。USB 機器やトラックのデータ サイズおよび数に応じて、転送にはある程度の時間がかかります。

転送中、トラックはファイル名で呼び出すことができます。

車両に約 40000 トラックの情報を保存できますが、USB 機器 1 台当たりでは最大 16000 トラックです。

Digital Rights Management (DRM) 付きの音楽トラックは再生することができません。

USB 機器を選択する

USB ポートに関する情報は、車両の取扱説明書を参照してください。

- 1 USB 機器を USB ポートに接続します。

できるだけ USB 機器に付属されているアダプター ケーブルを使用してください。

- 2 「マルチメディア」
- 3 「USB」

または：USB 機器の名称を選択します。

再生についての詳しい説明 (44 ページ参照)。

Bluetooth オーディオ

機能概要

- オーディオ機器や携帯電話などの外部機器から、Bluetooth を介して音楽ファイルを再生します。
- 音声出力の音量は、機器によって異なります。必要に応じて、機器の音量設定を変更してください。
- 最大 4 台の外部機器を車両に接続することができます。

機能の前提条件

- Bluetooth 対応機器が車両と接続されている。Bluetooth 接続については、車両の取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth オーディオ再生がオンにされました。

Bluetooth 対応機器を選択する

- 1 「マルチメディア」
- 2 リストから希望の Bluetooth 対応機器を選択します。

再生についての詳しい説明 (44 ページ参照)。

Bluetooth 対応機器が機器リストに表示されていない場合は、Bluetooth オーディオ再生が有効になっていないことがあります。Bluetooth オーディオ再生を有効にするには、以下の手順を行ってください：

- 1 「マルチメディア」
- 2 「携帯機器管理」

- 3 希望する Bluetooth 対応機器を選択します。

- 4 「Bluetooth オーディオ」

再生

知識

オーディオソースが選択された後、コントロールディスプレイに再生情報が表示されます。

コントロール ディスプレイに、現在のトラックに関する既存の情報とプレイリストが表示されます。プレイリストの内容と範囲は、選択したオーディオソースと使用した検索基準に応じて異なります。

- USB 機器と Bluetooth 対応機器の場合、また音楽ライブラリの場合、選択されたプレイリストが表示されます。これは、検索結果または以前に保存されたプレイリストです。

コントローラーを左に傾けると、その他の機能が表示されます。機能の範囲は、選択したオーディオソースにより異なります。

Bluetooth 対応機器の場合は、サポートされる Bluetooth バージョンに応じて、Toyota Supra Command で操作可能な機能の範囲が制限されることがあります。必要に応じて、欠けている機能を直接機器で実行することができます。

トラックを選択する

プレイリストから希望するトラックを選択します。

選択したトラックから順に、プレイリストの全トラックが再生されます。

トラックの切り替え

操作ボタンから：



左か右のボタンを押します。

プレイリストの前の / 次のトラックが再生されます。

早送り / 早戻し

操作ボタンから：



左または右ボタンを押し続けます。

検索基準

知識

可能な検索基準は、選択したオーディオソースにより異なります。

トラック情報の検索

以下の検索基準は、トラック情報に保存されているデータに関係しています。

- 1 コントローラーを左に傾けます。
- 2 🔍 「メディア検索」
- 3 希望する設定を選択します：

●「検索」

入力された文字列を含むトラック情報がある全てのトラックが表示されます。入力された文字が多いほど、結果がより絞り込まれます。

結果リストを表示させるには、コント

ローラーを右に傾けます。

●「ジャンル」

再生可能な全ジャンルのリストが表示されます。

ジャンルを選択すると、該当する全てのアーティストが表示されます。

●「アーティスト」

再生可能な全アーティストのリストが表示されます。

アーティストを選択すると、該当する全てのアルバムとトラックが表示されます。

●「アルバム」

再生可能な全アルバムのリストが表示されます。

アルバムを選択すると、該当する全てのトラックが表示されます。

●「トラック」

再生可能な全トラックのリストが表示されます。

4 必要に応じてアルバムを選択します。

5 再生を開始するトラックを選択します。

アーティストおよびトラックの検索を直接選択することもできます。

1 コントローラーを左に傾けます。

2 👤 「アーティスト」または 🎵 「トラック」

選択した検索基準が保存されていないトラックは、不明として分類されます。トラック情報なしのトラックは、ディレクトリ内の検索のみが可能です。

プレイリストを検索する

- 1 コントローラーを左に傾けます。
- 2  「メディア検索」
- 3 「プレイリスト」
再生可能な全プレイリストが表示されます。
- 4 再生リストを選択します。
- 5 再生を開始するトラックを選択します。

コントロール ディスプレイに再生に関する情報が表示されます。プレイリストは、検索結果のトラック リストと同じです。

オーディオ ブックとポッドキャストを検索する

USB 機器と装備に応じて、オーディオ ブックとポッドキャストを個別に検索することができます。

- 1 コントローラーを左に傾けます。
- 2  「メディア検索」
- 3 希望する設定を選択します：

●「Podcast」

再生可能な全ポッドキャストのリストが表示されます。

●「オーディオブック」

再生可能な全オーディオブックのリストが表示されます。

- 4 再生を開始するトラックを選択します。

コントロール ディスプレイに再生に関する情報が表示されます。プレイリストは、検索結果のトラック リストと同じです。

ディレクトリ内を検索する

音楽ライブラリおよび USB 機器では、ディレクトリ内の検索が行えます。

ファイルおよびトラックの名称はフォルダ名およびファイル名と同じです。フォルダ名とファイル名はトラック情報の中の名称と異なることがあります。

- 1 コントローラーを左に傾けます。
- 2  「メディア検索」
- 3 「フォルダ検索」
- 4 必要に応じてサブフォルダに切り替えます。

再生を開始するトラックを選択します。

コントロール ディスプレイに再生に関する情報が表示されます。プレイリストは、検索結果のトラック リストと同じです。

アルバムをスクロールする

- 1 コントローラーを左に傾けます。

2 「アルバムを検索」

再生可能なアルバムがグラフィック表示されます。

- 3 アルバムをスクロールするには、コントローラーを回します。

- 4 希望するアルバムを選択します。

選択されたアルバムの全トラックが表示されます。

- 5 再生を開始するトラックを選択します。

- 6 コントローラーを左に傾けます。コントロールディスプレイが再生情報とともに表示されます。プレイリストはアルバムのトラックリストと同じです。

類似のトラックを検索する

- 1 コントローラーを左に傾けます。

- 2  「類似のトラック」

類似のトラックを含むリストが表示されます。

- 3 再生を開始するトラックを選択します。

コントロール ディスプレイに再生に関する情報が表示されます。プレイリストは、検索結果のトラック リストと同じです。

ランダム再生

機能概要

現在のプレイリストまたは選択したオーディオソースの全てのトラックが、順不同に再生されます。

ランダム再生を選択する

- 1 コントローラーを左に傾けます。

- 2  「ランダム」

お気に入りリスト

機能概要

現在のトラックを専用のプレイリスト、つまりお気に入りリストに割り当てることができます。現在

のトラックがすでにお気に入りリストに含まれている場合、これをリストから削除することができます。お気に入りリストは、プレイリストの検索 (46 ページ参照) の際いちばん最初に表示されます。

お気に入りリストを作成する

- 1 コントローラーを左に傾けます。

- 2 ☆ 「お気に入りに追加」または ☆ 「お気に入りから消去」

ビデオ

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

機能概要

ビデオ ファイル を再生することができます。音声出力は、車両スピーカーを通して行われます。

設定は、そのとき使用しているドライバ プロファイルに記憶されます。

コントロール ディスプレイのビデオ画像は、各国規定の速度を超えるとオフに切り替わります。

装備に応じて以下のビデオ ソースが可能です。

シンボル	意味
	USB 機器。

USB 機器

一般事項

USB 機器によっては、USB ポートからビデオを再生できない場合があります。

再生可能なフォーマット

MP4、M4V、AVI、WMV、XVID、H.264。

お客様が使用しているエンコーダソフトやビデオファイルの仕様によっては、認識や再生ができない場合があります。

USB 機器を選択する

適切なアダプター ケーブルを用いて USB 機器と USB ポートを接続します。

USB ポートに関する情報は、車両の取扱説明書を参照してください。

1 「マルチメディア」

2 「USB」

または：接続した USB 機器の名称を選択します。

ビデオを検索する

1 コントローラーを左に傾けます。

2  「メディア検索」

3 「ビデオ」

再生可能な全ビデオのリストが表示されます。

4 再生を開始するトラックを選択します。

コントロール ディスプレイに再生に関する情報が表示されます。プレイリストは、検索されたフィルム リストと同じです。

テレビ、TV

車両装備

このチャプターでは、モデル シリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

知識

設定は、そのとき使用しているドライバー プロファイルに記憶されます。

警告

- 走行中に統合インフォメーション システムおよび通信機器を操作すると、交通状況から注意がそれるおそれがあります。車両を制御できなくなるおそれがあります。事故が発生するおそれがあります。システムや装置の操作は、交通状況が許す場合にのみ行ってください。必要な場合は車両を止め、停止状態でシステムや装置を操作してください。

プログラムを選択する

特定の状況下では受信可能なチャンネルのリストは自動的に更新さ

れません。必要に応じて放送局サーチ (50 ページ参照) をしてリストを更新してください。

1 「マルチメディア」

2 「テレビ」

最後に視聴したチャンネルが表示されます。

3 放送局リストを表示するにはコントローラーを回します。

受信可能なチャンネルのリストが表示されます。

4 希望のチャンネルを選択します。

放送局サーチ

放送局サーチは、提供されるチャンネルの数に応じて最長で 2 分かかります。提供されるチャンネルがリストに全く表示されない場合は、必要に応じて TV リージョンを設定してください (51 ページ参照)。

1 「マルチメディア」

2 「テレビ」

3 ボタンを押します。

4 「放送局スキャン」

5 放送局サーチを中止するには：「キャンセル」

プログラムを切り替える

操作ボタンから：

  左か右のボタンを押します。

プログラム リストから前の / 次のプログラムが表示されます。

プログラムを保存する

1 「マルチメディア」

2 「テレビ」

選択したプログラムの記号は、そのプログラムがすでに再生されたことを示しています。

シンボル	意味
	プログラムは記憶されていません。
	プログラムはすでに記憶されています。

記憶場所として 1 ～ 25 を使用できます。

表示されているプログラムを記憶するには：

1 コントローラーを左に傾けます。

2 ☆ 「放送局登録」

メモリー リストが表示されます。

3 登録したい場所を選択します。

表示されたプログラム以外のプログラムを記憶するには：

1 希望のプログラムを選択します。

2 メモリー リストが表示されるまで、コントローラーを押し続けます。

3 登録したい場所を選択します。

放送局はプログラマブル ボタンにも記憶させることができます。

電子番組ガイド

いくつかの放送局は電子番組ガイドを提供しています。

1 「マルチメディア」

2 「テレビ」

3 コントローラーを左に傾けます。

4 「テレビ番組」

放送局の現在およびその次の番組が表示されます。

放送局から送信される情報に基づいて、放送局のその日の全番組が必要に応じて表示されます。

今日の番組表を表示させるには、放送局名を選択します。

いくつかの文字が正しく表示されない場合は、必要に応じてTVリージョンを設定してください(51 ページ参照)。

番組情報を表示させる

放送局から送信される情報に基づいて、その番組についての詳細情報を表示させることができます。

詳細情報を表示させるには、番組を選択します。

放送局を選択することができます。

プリセット チャンネル

1 「マルチメディア」

2 「プリセット放送局」

3 希望のチャンネルを選択します。

番組の削除

1 「マルチメディア」

2 「プリセット放送局」

3 削除したい番組をにカーソルを合わせます。

4  ボタンを押します。

5 「登録消去」

TV の調整

明るさ、コントラスト、カラー、ズームを調節する

1 再生中にコントローラーを左に傾けてください。

2 「表示設定」

3 希望する項目を選択します。

4 希望の設定が表示されるまでコントローラーを回し、その後コントローラーを押します。

TV リージョン コードを選択する

1 「マルチメディア」

2 「テレビ」

3  ボタンを押します。

4 「テレビリージョン」

5 エリアを選択します。

サウンドトラック多重音声を
選択する

各種サウンドトラックの提供は、TV 番組と時刻により異なります。

1 「マルチメディア」

2 「テレビ」

3 コントローラーを左に傾けます。

4 「オーディオトラック」

5 サウンドトラックを選択します。

字幕を表示させる

字幕の表示は各放送局のサービス内容によって異なります。

- 1 「マルチメディア」
- 2 「テレビ」
- 3 コントローラーを左に傾けます。
- 4  「字幕」
- 5 字幕を選択します。

放送メッセージ、EMM

放送メールを呼び出す

- 1 「マルチメディア」
- 2 「テレビ」
- 3  ボタンを押します。
- 4 「EMM」

放送メールを操作する

- 機能进行操作するためにコントローラーを希望する方向に傾け、押します。
- 対応する操作を行うために、希望するカラーの  シンボルを選択してください。
- 前のページを表示する際は、 シンボルを選択してください。

放送メールから出る

-  シンボルを選択します。

BML

BML を呼び出す

- 1 「マルチメディア」
- 2 「テレビ」
- 3 コントローラーを左に傾けます。
- 4 *d* 「データ放送」

BML の操作

- 項目を選択するには、コントローラーを希望する方向に傾けます。

項目を確定するには、**OK** を選択します。

- 対応する操作を行うために、希望するカラーの  シンボルを選択してください。
- 前のページを表示する際は、 シンボルを選択してください。
- **123** 数字を入力するには、シンボルを選択します。

BML から出る

- d* シンボルを選択します。

3-1. コミュニケーション

電話..... 54

電話

車両装備

このチャプターでは、モデルシリーズに提供される全ての標準装備、国別装備、オプション装備品について説明しています。従って、選択されたオプション装備品や国別仕様などの理由により、お客様の車両では使用することができない装備および機能についての説明も含まれています。このことは、安全関連の機能とシステムにも当てはまります。規制の対象となるような機能とシステムを使用する場合は、当該国で適用されている法律と規定に従ってください。

電話機能

機能概要

Bluetooth を介して携帯電話を車両に接続することができます。車両の取扱説明書を参照してください。

高温下では、携帯電話の充電機能が制約を受け、携帯電話の機能を実行できなくなることがあります。車両と接続された携帯電話は、携帯電話のボタンでは操作しないでください。操作すると、機能不良が発生する可能性があります。

車両に携帯電話を接続して使用する際には、携帯電話の取扱説明書をよく読んでください。

安全上の注意事項

警告

- 操作は車両を安全な場所に停車させてから行ってください。ドライバーが走行中に携帯電話を操作することは禁止されています。通話にはハンズフリーの機能を使用してください。そうしないと、助手席乗員や道路利用者を危険にさらすおそれがあります。

着信

電話をかけてきた人の番号が電話帳にメモリーされていて、ネットワークから転送される場合、発信者の名称が表示されます。さもなければ、電話番号のみが表示されます。

電話を受ける

さまざまな方法で着信を受けることができます。

- Toyota Supra Command から： 「応答」
-  ステアリングのボタンを押します。
- メーター パネルの選択リストから：ステアリングのダイヤルで選択します：「応答」

着信拒否

- Toyota Supra Command から： 「着信拒否」
- メーター パネルの選択リストから：ステアリング ホイールのダイヤルで選択します：「着信拒否」

通話を終了する

- Toyota Supra Command から： 「通話終了」
-  ステアリングのボタンを押します。

通話履歴

最近の発信した電話、出なかった電話、着信した電話の履歴が車両に転送されます。装備に応じて、メイン電話と追加電話から転送が行われます。

表示

- 1 「通信 / 電話」
- 2 「通話履歴」
- 3 直前 20 件の通話履歴が表示されます。

電話リストをフィルターする

- 1 「通話 :」
- 2 希望する項目を選択します。

リストから電話番号を選択する

リストから選択します。登録内容を選択した携帯電話から電話をかけます。

オプションで：2 番目の携帯電話で電話をかけます。

中止するには：「通話終了」

連絡先として保存する、または連絡先に追加する

- 1 電話番号を選択します。

- 2  ボタンを押します。

- 3 「新規連絡先として保存」または「既存の連絡先に追加」

通話中

音量を調節する

通話中に、希望の音量に達するまで、ラジオの音量ボタンを回します。現在使用しているドライバープロファイルに対して、設定内容が記憶されます。

自動音量調節

- 1 「車両情報 / 設定」
- 2 「システム設定」
- 3 「サウンド」
- 4 「音量設定」
- 5 「マイクロフォン」または「スピーカー」
- 6 調節：コントローラーを回します。
- 7 メモリー登録：コントローラーを押します。

電話をかける

- 1 「通信 / 電話」
- 2 「番号ダイヤル」
- 3 電話番号を入力します。
- 4  シンボルを選択します。

電話機能が割り当てられている携帯電話で電話回線に接続します。

サブ電話との接続を確立します：

- 1  ボタンを押します。

2 「から電話をかける」

保留、再開

通話中の電話を保留し、後で再開することができます。

●  「保留 / 再開」

電話を保留にします。

●  「保留 / 再開」

電話を再開します。

マイクをミュートにする

通話中にマイクをミュートに切り替えることができます。

 「マイクロフォン」

以下の場合マイクが自動的にミュートになります：

- 新たに電話をかける場合。
- 通話を切り替えて通話相手を交替する場合。

複数の通話者との通話

機能概要

通話間の切り替えが可能です。携帯電話およびサービス プロバイダーによって機能がサポートされている必要があります。

キャッチホンを受ける

通話中に別の電話が着信した場合、必要に応じて割り込み通話音が鳴ります。

 「応答」

キャッチ ホンを受け、もとの通話

は保留になります。

2 番目の通話を構築する

通話中に、さらに別の通話を行うことができます。

1  「連絡先」

2 新しい電話番号を選択します。

電話が発信され、最初の通話が維持されます。

2 つの通話間を切り替える

2 つの通話間を切り替えることができます。

1 2 つの通話を構築します。

2 「再開」

保留中の通話に切り換わります。

ハンズフリー ユニット

機能概要

ハンズフリー ユニットを使用して行う通話は、携帯電話に引き継ぐことができ、またその逆も可能です。

携帯電話からハンズフリー ユニットへ

作動可能状態がオンまたはイグニッションがオンの場合、車両の Bluetooth の検知範囲外で始めた通話をハンズ フリー ユニットを使用して再開することができます。このためには、リモート コントロールが車内にある必要があります。

携帯電話によっては、自動的にハ

ンスフリーモードに切り替わります。

自動的に切り替えられない場合は、携帯電話のディスプレイに表示される内容に従ってください。携帯電話の取扱説明書も参照してください。

ハンズフリー ユニットから携帯電話へ

ハンズフリー ユニットを使用して行う通話は、携帯電話に引き継ぐことができる場合もありますが、これは携帯電話により異なります。携帯電話のディスプレイに表示される指示に従ってください。携帯電話の取扱説明書も参照してください。

連絡先

機能概要

連絡先を作成し、編集することができます。さらに連絡先が携帯電話から転送され、表示されます。携帯電話が連絡先の画像の機能をサポートしている場合、連絡先の画像を表示させることができます。

全ての連絡先を表示する

- 1 「通信 / 電話」
- 2 「連絡先」

連絡先がアルファベット順に表示されます。

連絡先の数に応じて、連絡先検索とクイック検索が提供されます。

連絡先検索

連絡先の数 が 30 以上の場合、連絡先検索を行えます。

- 1 🔍 「検索」
- 2 文字または音節を入力します。
右側に検索結果が表示されます。
- 3 コントローラーを右に傾けます。
- 4 連絡先を選択して、表示します。

リスト内のクイック検索

連絡先の数 が 30 以上の場合、クイック検索を行えます。コントロール ディ스플레이の左端に、項目がある文字と音節がアルファベット順で表示されます。

- 1 コントローラーを素早く左または右に回します。
左端に、登録されている連絡先の全ての文字と音節が表示されます。
- 2 希望の連絡先の最初の文字または音節を選択します。

選択した文字または音節の最初の項目が表示されます。

自宅連絡先を保存する

自宅連絡先を保存することができます。これは連絡先の中の最初に記載されます。

- 1 「自宅連絡先 (未登録)」
- 2 希望のフィールドに入力します。
- 3 「連絡先を車両に保存」

連絡先を車両に保存する

1  ボタンを押します。

2 「連絡先を車両に保存」

携帯電話の連絡先のコピーが車両に保存されます。

その他の機能

装備に応じて、選択した連絡先で以下の機能を使用できます：

-  ルート案内を開始します。
-  連絡先に電話をかけます。
-  E メールを送ります。

連絡先を削除する

車両に保存されている連絡先を削除することができます。携帯電話から転送された連絡先は削除できません。

1 希望の連絡先を選択します。

2  ボタンを押します。

3 「連絡先消去」

車両の全ての連絡先を削除する

車両に保存されている全ての連絡先が削除されます。携帯電話から転送された連絡先は削除されません。

1  ボタンを押します。

2 「車内の全ての連絡先消去」

3 「OK」

新しい連絡先

必要に応じて「入力クリア」

1  ボタンを押します。

2 「新規連絡先」

3 希望のフィールドに入力します。

4 「連絡先を車両に保存」

ソースを選択する

連絡先を転送するか、またどの携帯電話から連絡先を転送するかを選択することができます。

1  ボタンを押します。

2 「連絡先のソース選択」

3 希望の携帯電話を選択します。

目的地として連絡先を記憶する

ナビゲーション システム装備の場合、連絡先を目的地としてメモリーしたり、すでにメモリーされている目的地に追加したりできます。

1 希望の連絡先を選択します。

2  ボタンを押します。

3 必要に応じて住所を目的地としてチェックします。

住所をチェックした連絡先のみ、目的地として記憶することができます。

4 「メモリ地点として保存」

住所を目的地としてチェックする

ナビゲーション システム装備の場合、連絡先を目的地として取り込

むことができます。

- 1 希望の連絡先を選択します。
- 2 住所を選択します。
- 3 「住所確認」または「オンライン住所検索」
- 4 必要に応じて項目を修正します。
- 5 「ルート案内開始」

住所をルート案内に取り込むことができます。

連絡先を編集する

携帯電話から転送された連絡先を変更する場合、保存時に登録項目のコピーが車両で作成されます。名称が同じ連絡先登録はひとつの連絡先にまとめられます。

- 1 希望の連絡先を選択します。
- 2 「連絡先編集」
- 3 希望の項目を変更します、または項目を追加します。
- 4 「連絡先を車両に保存」

音声コントロール

接続されているスマートフォンは音声で操作できます。

そのためには、スマートフォンの音声コントロールをオンにします。

ステアリング ホイールの ボタン	機能
	ボタンを 3 秒以上押します。 スマートフォンの音声コントロールが起動します。
	

音声コントロールが作動している場合は、コントロールディスプレイにアイコンまたは確認メッセージが表示されます。

追加機能

機能概要

携帯電話に応じて、携帯電話の以下の内容が車両に転送されます：

- 連絡先 (57 ページ参照)。
- ショート メッセージ (59 ページ参照)。
- E メール (61 ページ参照)。
- カレンダーの内容、予定 (62 ページ参照)。
- タスク (63 ページ参照)。
- メモ (64 ページ参照)。

データの転送には数分間かかる場合があります。

場合によっては、携帯電話のプロバイダーまたはサービス プロバイダーから機能を許可してもらう必要があります。

ショート メッセージ

全てのショート メッセージを表示する

- 1 「通信 / 電話」
- 2 「SMS」

メッセージ (76 ページ参照) に関する情報。

ステータス

シンボルはショート メッセージのステータスを表します。

シンボル	意味
	既読のショート メッセージ。
	未読のショート メッセージ。

メッセージ リストをフィルターする

-  ボタンを押します。
- 「メッセージをフィルター」
- 希望する項目を選択します。

ソースを選択する

ショート メッセージを転送するか、またどの携帯電話からショート メッセージを転送するかを選択することができます。

-  ボタンを押します。
- 「メッセージのソース選択」
- 希望の携帯電話を選択します。

会話を削除する

任意の通信相手との会話を完全に削除します。

- 希望のショート メッセージを選択します。
-  ボタンを押します。
- 「SMS 履歴の削除」
- 「はい」

ショート メッセージを表示する

希望するショート メッセージまたは会話を選択します。この相手との会話が表示されます。

ショート メッセージに返信する、または転送する

- 希望のショート メッセージを選択します。

2 「返信」

ショート メッセージの受信者が自動的に登録されます。

「転送」

「宛先:」

番号または連絡先を入力します。結果リストから連絡先を選択するには、必要に応じてコントローラーを右に傾けます。

3 「From:」

必要に応じて、ショート メッセージを送信する携帯電話を選択します。

4 「テキスト:」

音声認識 (65 ページ参照)。

5 「送信」

新しいショート メッセージ

1 「通信 / 電話」

2 「SMS」

3 「SMS を書く」

4 「宛先:」

番号または連絡先を入力します。結果リストから連絡先を選択するには、必要に応じてコントローラーを右に傾けます。

5 「From:」

必要に応じて、ショート メッセージを送信する携帯電話を選択します。

6 「テキスト」

音声認識 (65 ページ参照)。

7 「送信」

中止するには: 「全内容を消去」

その他の機能

選択されたショート メッセージまたは会話で以下の機能を使用できます。

-  「送信者に電話」
-  「連絡先に追加」または 「送信者表示」
-  「転送」 (60 ページ参照)
-  「返信」 (60 ページ参照)
-  「消去」
-  内容を読み上げます (66 ページ参照)。
- 「データ利用」 (66 ページ参照)

E メール

全ての E メールを表示する

- 1 「通信 / 電話」
- 2 「E メール」

アカウントを選択する

E メールを転送するか、またどの携帯電話から転送するか、場合によってはどのユーザー アカウントから転送するかを選択することができます。

- 1  ボタンを押します。
- 2 「アカウント選択」

- 3 希望のアカウントを選択します。

ステータス

シンボルは E メールステータスを表します。

シンボル	意味
	既読の E メール。
	未読の E メール。

E メールをフィルターする

- 1  ボタンを押します。
- 2 「E メールをフィルター」
- 3 希望する項目を選択します。

E メールを削除する

- 1 希望の E メールを選択します。
- 2  ボタンを押します。
- 3 「E メール消去」
- 4 「OK」

全ての受信者を表示する

E メールに複数の受信者がある場合、それらを表示させ、その他の機能のためにそのデータを使用することができます。

- 1 表示したい E メールを選択します。
- 2  ボタンを押します。
- 3 「全ての宛先を表示」

新しいEメール

- 1 「通信 / 電話」
- 2 「Eメール」
- 3  「Eメールを書く」
- 4 「宛先:」

Eメール アドレスまたは連絡先を入力します。連絡先リストから連絡先を選択するには、必要に応じてコントローラーを右に傾けます。

5 「From:」

必要に応じて、Eメールを送信するアカウントを選択します。

6 「件名:」

音声認識 (65 ページ参照)。

7 「テキスト:」

音声認識 (65 ページ参照)。

8 「送信」

中止するには: 「全内容を消去」

Eメールに返信する、または転送する

- 1 表示したいEメールを選択します。

2 「返信」

● 「返信」

Eメールの受信者が自動的に登録されます。

● 「全員へ返信」

Eメールの全ての受信者が自動的に登録されます。

● 「転送」

Eメール アドレスまたは連絡先を入力します。連絡先リストから連絡先を選択するには、必要に応じてコントローラーを

右に傾けます。

3 「宛先:」

Eメール アドレスまたは連絡先を入力します。結果リストから連絡先を選択するには、必要に応じてコントローラーを右に傾けます。

4 「From:」

必要に応じて、Eメールを送信する携帯電話またはユーザー アカウントを選択します。

5 必要に応じて「件名:」

音声認識 (65 ページ参照)。

6 「テキスト:」

音声認識 (65 ページ参照)。

7 「送信」

その他の機能

選択されたEメールで以下の機能を使用できます。

-  「読み上げ」 (66 ページ参照)
-  「返信」 (62 ページ参照)
-  「連絡先に追加」または「送信者表示」
-  「未読としてマーク」
-  「Eメール消去」

カレンダー

カレンダーを表示する

1 「通信 / 電話」

2 「カレンダー」

現在の週の予定が表示されます。

カレンダーの別の日を表示するには:

- 「先週を表示」
- 「翌週を表示」

カレンダー月の表示

カレンダーを選択します。

月一覧が表示されます。予定のあるカレンダー日にはマークが付いています。

今日に切り替える

- 1  ボタンを押します。
- 2 「本日に変更」

ソースを選択する

予定を転送するか、またどの携帯電話から予定を転送するかを選択することができます。

- 1  ボタンを押します。
- 2 「ソース選択」
- 3 希望の携帯電話を選択します。

リマインダーをオンにする

- 1  ボタンを押します。
 - 2 「リマインダーを有効にする」
- リマインダーがメッセージとステータスバーに表示されます、車両の取扱説明書を参照。

リマインダーをオフにする

- 1 希望のカレンダー項目を選択します。
- 2  「リマインダーを無効にする」

カレンダーを更新する

データを更新します (66 ページ参照)。

その他の機能

装備に応じて、選択された予定で以下の機能を使用できます：

-  内容を読み上げます (66 ページ参照)。
- ルート案内を開始します。
- 「詳細を使用」 (66 ページ参照)

タスク

タスクを表示する

- 1 「通信 / 電話」
 - 2 「仕事」
- 全てのタスクが表示されます。

タスクを並べ替える

- 1 「並べ替え」
- 2 希望する項目を選択します。

リマインダーをオンにする

- 1  ボタンを押します。
 - 2 「リマインダーを有効にする」
- リマインダーがメッセージとステータスバーに表示されます、車両の取扱説明書を参照。

タスクを更新する

データを更新します (66 ページ参照)。

ソースを選択する

タスクを転送するか、またどの携帯電話からタスクを転送するかを選択することができます。

- 1  ボタンを押します。
- 2 「ソース選択」
- 3 希望の携帯電話を選択します。

その他の機能

選択されたタスクで以下の機能を使用できます。

-  内容を読み上げます (66 ページ参照)。
- 「データ利用」 (66 ページ参照)

メモ

全てのメモを表示する

- 1 「通信 / 電話」
- 2 「ボイスメモ」

全てのボイス メモと全てのテキスト メモが表示されます。

全てのボイス メモをエクスポートする

ボイス メモを USB 接続部からエクスポートするには、互換性のあるメディアを USB ポートに接続する必要があります。

エクスポートの際に、USB 機器にすでにあるボイス メモが上書きされます。

- 互換性のあるメディア：USB メモリー スティック、USB ポートつき MP3 プレーヤーなどの大容量

量 USB メモリー。

- 互換性のないメディア：USB ハードディスク、USB ハブ、複数のスロット付き USB メモリーカードリーダー、Apple iPod/iPhone。
- ファイル システム：USB 機器用のファイル システムがサポートされます。推奨されるのは FAT32 形式です。

- 1  ボタンを押します。
- 2 「全てのメモをエクスポート (USB)」

全てのボイス メモを削除する

- 1  ボタンを押します。
- 2 「全てのボイスメモを削除」
- 3 「OK」

新しいボイス メモ

- 1  「新規ボイスメモ」
- 2 ○ 「録音開始」 / 「録音再開」
- 3 || 「録音休止」
- 4 「登録」

ボイス メモがボイス メモ リストに表示されます。

中止するには：「キャンセル」

メモを表示する

希望のメモを選択します。

その他の機能

選択されたボイス メモで以下の機能を使用できます。

-  「ボイスメモを含む E メール」

ル」(62 ページ参照)

-  「エクスポート (USB)」(64 ページ参照)
-  「消去」
-  「再生」(66 ページ参照)

メモを更新する

データを更新します (66 ページ参照)。

音声認識 / ディクテーション機能

知識

提供内容は車両装備と国別仕様によって異なります。

機能概要

発声された単語が音声認識により識別され、テキストに変換されます。テキストは必要に応じて修正および補足することができます。テキストを E メールまたはショートメッセージの件名または内容として使用することができます。これを利用する場合は、データが暗号化された接続を介してサービスプロバイダーに伝送され、そこに保存されます。

作動条件

携帯電話がこの機能をサポートしている必要があります。

以下の機能がオンになっています：「サーバー経由の音声認識」

テキストを録音する

- 1  希望の言語を選択します。
- 2 ●  シンボルを選択して、録音を開始します。
- 3 ☐ シンボルを選択して、録音を終了します。
- 4 OK 「テキスト確定」
- 5  「前回のディクテーション結果を消去」
-  「全て消去」
-  「全テキストの読み上げ」
-  「前回ディクテーションの読み上げ」

連絡先名用の音声認識を向上する

■ 機能概要

接続されている携帯電話の連絡先名が音声認識に伝送されます。これにより、テキストへの変換時に連絡先名がより正確に検知されます。これを利用する場合は、データが暗号化された接続を介してサービスプロバイダーに伝送され、そこに保存されます。

■ 機能をオン／オフにする

この機能は、それぞれの携帯電話に対して作動 / 作動解除することができます。

- 1 「車両情報 / 設定」
- 2 「システム設定」
- 3 「携帯機器」
- 4 希望する機器を選択します。
- 5 「音声認識機能用に連絡先の名前をアップロード」

読み上げ

SMS、E メール、タスク、テキストメモ、およびカレンダーの内容を読み上げさせることができます。

- ▷ 「再生」
- || 「一時停止」
- ▷| 「次の項目」 / 「次のメッセージ」
- ◀| 「前の項目」 / 「前のメッセージ」
- 終了するには、コントローラーを左に傾けてください。

再生

ボイス メモを再生することができます。

- ▷ 「再生」
- || 「一時停止」
- ▷| 「早送り」
- ◀◀ 「早戻し」

データを更新する

カレンダーのメモ、タスク、予定を個別に更新することができます。

- 1 「通信 / 電話」
- 2 希望する設定を選択します：
 - 「カレンダー」
 - 「仕事」
 - 「ボイスメモ」
- 3  ボタンを押します。
- 4 「データ更新」

データを使用する

電話番号、カレンダーのメールアドレス、ショート メッセージなどを編集することができます。

走行中：

- 1 ショート メッセージなど、希望する項目を選択します。
- 2 「データ利用」
- 3 全ての使用可能なデータが表示されます。
- 4 電話番号など、希望する項目を選択します。
- 5 コントローラーを右に傾けます。

全ての使用可能なオプションが表示されます。

- 「E メールを書く」
- 「SMS を書く」
- 「既存の連絡先に追加」
- 「新規連絡先として保存」
- 「番号に電話する」
- 6 希望する項目を選択します。

停車時には項目を個別に選択することができます。使用可能なオプションが表示されます。

メニューを調整する

例えば、使用しない機能の項目をメニューから削除するために、メニューを調整することができます。

- 1 「通信 / 電話」
- 2 「メニューカスタマイズ」
- 3 希望する項目を選択します。
- 4 コントローラーを左に傾けます。

4-1. Toyota Supra Connect

Toyota Supra Connect 68

Toyota Supra Connect

Toyota Supra 専用のコネクティッドサービスになります。

はじめに

Toyota Supra Connect はビー・エム・ダブリュ株式会社がサービスを提供します。

サービスの利用手続き

Toyota Supra Connect のすべてのサービスをご利用いただくには、お手続きが必要です。

- トヨタ販売店にて Toyota Supra Connect の利用手続き
- お客様ご自身での、Toyota Supra Connect のユーザー登録（アカウント登録・車両の追加）

ユーザー登録の方法

Toyota Supra Connect ユーザーサイトおよび Toyota Supra Connect アプリから登録を行ってください。

Toyota Supra Connect アカウントを取得後、忘れずに「車両の追加」を行ってください。

- ユーザーサイト

<https://www.toyota-supraconnect.jp>

- Toyota Supra Connect アプリ
iOS の Apple アプリ ストアからインストール

有償サービス購入の方法

購入可能な有償サービスは、Toyota Supra Connect ユーザーサイトに表示されます。ユーザーサイトから有償サービスの購入手続きを行います。

サービス利用停止の手続き

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際など、サービスの利用停止をご希望の場合は必ず、利用停止手続きと車両登録の解除を行ってください。

- トヨタ販売店にて Toyota Supra Connect サービス利用停止依頼の手続き
- お客様ご自身での、Toyota Supra Connect アカウントの 車両登録を解除

お車を手放す場合

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、お客様ご自身で「個人データの削除」を行ってください。

個人データの削除方法は、車両の取扱説明書を参照してください。

安全上の注意事項

警告

- 走行中に統合インフォメーションシステムおよび通信機器を操作すると、交通状況から注意がそれるおそれがあります。車両を制御できなくなるおそれがあります。事故の危険があります。システムや装置の操作は、交通状況が許す場合にのみ行ってください。必要な場合は車両を止め、停止状態でシステムや装置を操作してください。
- 現在の交通状況とナビゲーション情報の間に、通りのルートや工事現場の変更などの相違が生じることがあります。必ず実際の交通規制にしたがってください。

エマージェンシーコール

事故や急病などの緊急事態発生時に、自動、または手動で SOS コールを発信することができます。エマージェンシーコールはトヨタの緊急通報センターに接続します。エマージェンシーコールは、技術的な理由により、不利な条件のもとでは作動を保証できません。



SOS ボタン。

利用条件

- Toyota Supra Connect 契約が有効であること
- 作動スタンバイがオン状態であること
- SOS コールシステムが正常であること
- 車両に内蔵されている SIM カードが有効であること

利用方法

自動作動

エアバッグの作動など、ある決まった前提条件のもとで、該当する重度の事故が起こった直後に SOS コールが自動的に作動します。自動 SOS コールは、SOS ボタンを押しても中断できません。

手動作動

SOS ボタンは緊急時にのみ押してください。

- ボタンの LED が緑色に点灯するまで、SOS ボタンを押し続けます。
- SOS コールが作動した場合、LED が緑色に点灯します。

コントロールディスプレイに「SOS コール キャンセル」が表示されている場合、SOS コールの発信を中止できます。中止をする場合は「SOS コール キャンセル」をタップしてください。

状況が許す場合は、緊急通報センターに音声が接続されるまで車内で待ちます。

- 緊急通報センターと音声がつながると、LED が緑色に点滅します。

必要な救助処置の決定に役立つデータや車両位置などが、緊急センターに転送されます。

緊急通報センターからの問いかけに応答がない状態が続くと、自動的に救助処置が開始されます。

緊急通報センターの声がスピーカーを通して聞こえない場合でも、お客様の声は緊急通報センターにまだ聞こえていることがあります。

SOS コールの終了は、緊通報センターによって実施されます。お客様での終了はできません。

エマージェンシーコールのデータ・情報について

SIM カード

エマージェンシーコールは、車両に取り付けられた SIM カードを介して無線で実行されます。

SIM カードは、素早い接続を確立するために、継続的にモバイルネットワークにログインされています。

これらのデータは緊急時にサービス提供者に送信されます。

品質の向上

SOS コール時に伝送されたデータは、製品およびサービス品質の向上のためサービス提供者に利用されることがあります。

位置検索

車両の位置は携帯電話に基づき、モバイル ネットワークのプロバイダーによってのみ特定することができます。

車台番号と使用されている SIM カードの電話番号の照合は、サービス提供者のみが実施できます。

SOS コールのログデータ

SOS コールのログ データは車両のメモリーに保存されます。

古いデータは定期的に削除されます。

ログ データは、SOS コールが発信された時間や場所などの情報を含んでいます。

ログ データは、弊社が従うべき法的義務のために必要がある場合のみ、車両メモリーから読み出すことができます。

送信される情報

エマージェンシーコールは、情報が契約緊急通報センターに転送されます。

さらに、緊急通報センターに送信された後、以下の追加情報が、必要に応じて公的な救急機関に転送されます：

- 救急隊の投入計画を軽減するための、車両センサーによって検知された衝突方向などの事故データ。
- 必要な場合に事故関係者と迅速に連絡を取ることができるようにするための、取り付けられている

SIM カードの電話番号、使用可能な場合は運転者の電話番号などの連絡先データ。

データ保存

SOS コールの通話の音声記録は、緊急通報センターに保存されます。

SOS コールの細部を分析する必要がある場合は、お客様の音声記録を 24 時間保存し、その後削除します。

緊急通報センターのスタッフの音声記録は、品質保証の目的として 24 時間保存します。

個人に関するデータについての情報

エマージェンシーコールの範囲で処理されるデータは、SOS コールの実行目的でのみ処理されます。サービス提供者は、法的義務のために必要がある場合、処理したデータや保存されているデータを開示する場合があります。

リモートメンテナンス

車両から発信される情報を利用して、お車のトラブルをサポートするサービスです。

● ロードサイドアシスト

ロードサイドアシスト

ロードサイドアシストでは、お客様が日本全国でいつでも安心してお乗りいただけるよう、24 時間年中無休の体制で緊急電話を受け付けております。

このサポートは、Toyota Supra にお乗りいただいている全てのお客様が対象となり、車両トラブルが発生した時にレッカー車などの救援車両の手配を行います。

※ 上記サービス利用にかかる料金はおお客様のご負担となります。

利用条件

- Toyota Supra Connect 契約が有効であること

利用方法

Toyota Supra Command から：

- 1 「Connected Serv.」
- 2 「Toyota Supra アシスタンス」
- 3 「ロードサイドアシスト（JAF を手配）」

ロードサイドアシスト サービスデスクと音声接続されます。車両の状況などをオペレーターにお伝えください。

ご利用の携帯電話、自宅などの電話からもご利用できます。

● オペレーター専用電話番号

0561-57-6898

お電話をいただく際は、車台番号、もしくは VIN をご準備ください。

Toyota Supra Connect サービス

Toyota Supra Connect サービスは、天気やニュースなどの車両アプリを起動し、情報をコントロール ディスプレイに表示するサービスです。

利用条件

- Toyota Supra Connect 契約が有効であること
- サービスの有効期限内であること
- モバイルネットワーク内での受信ができること
- 現在位置が必要なサービスの場合は、車両の現在地の算定ができること
- コントロール ディスプレイに現在の日付が設定されていること（車両の取扱説明書を参照）

利用方法

Toyota Supra Command から：

- 1 「Connected Serv.」
- 2 希望の車両アプリを選択します。

天気

現在地や目的地、検索地域の天気予報を表示。

今日を含めて 4 日間の天気予報を閲覧することが可能。

ニュース

最新ニュースをジャンル別に表示。
走行中のテキスト読み上げも可能。

オンライン検索

特定ジャンルの情報を、インターネット上の Google マップと同様に車載機で検索。

検索した場所を目的地に設定することも可能。

Wiki Local

指定した目的地の情報や周辺情報、ニュースを表示。

Apple CarPlay

Apple CarPlay は、互換性のある Apple iPhone の特定の機能を Siri 音声操作および Toyota Supra Command で操作できるようにします。

利用条件

- Toyota Supra Connect 契約が有効であること
- iPhone と車両が Bluetooth で接続されていること

設定方法

車両と接続する iPhone を登録します。

登録後は、登録した iPhone は自動検知され、車両に接続されます。

機器の条件

- 互換性のある iPhone であること
- 該当するモバイル通信契約があること
- iPhone で Bluetooth、Wi-Fi および Siri 音声コントロールがオンになっていること

Apple CarPlay をオンにする

Toyota Supra Command から：

- 1 「Connected Serv.」
- 2 「携帯機器管理」

3 「設定」**4 以下の項目を選択します：****● 「Apple CarPlay」****Apple CarPlay 対応の iPhone を登録する**

Bluetooth を介して iPhone を車両に登録します。

Toyota Supra Command から：

1 「Connected Serv.」**2 「携帯機器管理」****3 「新規機器接続」****4 以下の機能を選択します：****● 「Apple CarPlay」****5 「確定」**

コントロールディスプレイとスマートフォンの設定画面に表示される指示に従って、登録手続きを行ってください。

登録が完了すると Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。

利用方法

Apple CarPlay および、CarPlay で利用できるアプリは、iPhone にインストールされている必要があります。

Apple CarPlay および、CarPlay で利用できるアプリの利用範囲、内容は機器メーカーによって異なり、また、国別仕様によって異なる場合があります。

Apple CarPlay を介して接続された iPhone には、以下の制限が適用されます：

- iPhone にインストールされている全てのアプリを Apple

CarPlay により操作できる訳ではありません。

- 通話は Apple CarPlay を介してのみ可能です。
- iPhone をサブ電話として登録することはできません。
- 電話帳の登録は車両に転送されません。
- 1 台の電話しか車両に接続できません。
- Apple CarPlay の使用によって、モバイル通信費用が発生する場合があります。この費用は車両オプション装備品に含まれていません。

Apple CarPlay を利用する

以下のメニューから Apple CarPlay を選択できます：

▶ Apple CarPlay から利用

メインメニューの左端に表示される項目を選択：「Apple CarPlay」

Apple CarPlay のホーム画面が起動します。

▶ マルチメディアから利用**1 「マルチメディア」****2 「Apple CarPlay」**

iPhone のミュージックアプリが起動します。

▶ 通信 / 電話から利用**1 「通信 / 電話」****2 「Apple CarPlay の電話」**

iPhone の電話アプリが起動します。

Apple CarPlay を操作する

Apple CarPlay は Toyota Supra

Command および音声で操作できます。

音声で：

- 1 iPhone の Siri 音声コントロールが起動するまで、ステアリング ホイールの  ボタン、または  ボタンを押し続けます。
- 2 Siri が起動します。
- 3 iPhone で認識されているコマンドを話します。

Apple CarPlay から Toyota Supra Command に切り替える

Toyota Supra Command から：

- 1 「Connected Serv.」
- 2 「携帯機器管理」
- 3 対象スマートフォン機器名称を選択する。
- 4 以下の設定を選択します：
 - 「Toyota SupraCommand」

Apple CarPlay に設定を戻す場合は、「Apple CarPlay」を選択してください。

よくある質問

利用条件を満たしている、また、設定も完了しているにも関わらず、Apple CarPlay が動作しません。

この場合、iPhone の登録情報を削除し、再度登録をすることで解決する場合があります。

▶ スマートフォン側の削除

スマートフォンの設定画面から、対象車両名を削除してください。

▶ 車載機側の削除

Toyota Supra Command から：

- 1 「Connected Serv.」
- 2 「携帯機器管理」
- 3 対象スマートフォン機器名称を選択する。
- 4 「機器の消去」

削除完了後、再度「Apple CarPlay 対応の iPhone を登録する」をおこなってください。

再登録をしても解決しない場合は、お客様サポートセンター、トヨタ販売店にお問い合わせください。

地図更新

地図データは車両に保存されており、USB メモリーを使って更新することができます。

最新の地図データは、Toyota Supra Connect ユーザーサイトからダウンロードできます。

地図データの更新は、データ量に応じて数時間かかることがあります。

地図更新中でも、お車の走行、ナビゲーションシステムはご利用いただけます。

利用条件

- Toyota Supra Connect 契約が有効であること
- Toyota Supra Connect アカウントに車両が登録されていること
- サービスの有効期限内であること

更新方法

- 1 Toyota Supra Connect ユーザーサイトから地図データをダウンロードし、USB に格納します。
- 2 新しいナビゲーション データが含まれている USB メモリーをフロント USB ポートに接続します。
- 3 コントロールディスプレイに表示された指示に従ってください。地図更新が開始されます。

更新中は、お車の走行をしていただいて問題ありません。更新中にエンジン OFF をした場合、更新作業も中断されますが、次回エンジン ON と同時に、前回の続きから更新作業を再開します。

- 4 更新後に USB メモリーを抜き取ります。

ステータスを確認する

- 1  ボタンを押します。
- 2  ボタンを押します。
- 3 「ナビデータアップデート」

リモートサービス

Toyota Supra Connect アプリ、または Toyota Supra Connect ユーザーサイト ※ を利用して、車両の一部機能（ロックやロック解除など）を遠隔で操作することができます。

リモートサービスは技術的な理由により、不利な条件のもとでは作動を保証できません。

※ 一部ご利用いただけない機能があります。

利用条件

- Toyota Supra Connect 契約が有効であること
- Toyota Supra Connect アカウントに車両が登録されていること
- ユーザーサイトのリモートサービスが「有効」に設定されていること
- モバイルネットワーク内での受信ができること
- エンジンがOFFになっていること
- バッテリー充電レベルが十分であること

機能概要

ロック

すべてのドアおよびトランクの一括ロックを行います。

アラームシステムが作動していない状態で、リモートサービスのロックを実行した場合、アラームシステムは作動しません。

全てのドアが閉まっている場合に実行できます。

ロック解除

ドライバーシートのドアロックの解除を行います。

アラームシステムが作動している状態で、リモートサービスのロック解除を実行した場合、アラームシステムが解除されます。

全てのドアが閉まっている場合に実行できます。

パッシングライト点灯

ヘッドライトを2回点灯します。
イグニッションがオフの場合のみ実行できます。

パーキングベンチレーションの起動

パーキングベンチレーションを起動します。

走行開始前に外気換気を行うことで車内の温度調整を行います。

即時起動、または、出発時刻を指定して起動することができます。
パーキングベンチレーションは最大 30 分間の起動となります。

車両の位置を特定

車両の現在位置が確認できます。
最後にエンジン OFF をした位置が表示されます。

ご利用いただくには、現在の車両位置の表示を有効にする必要があります。設定方法は、車両の取扱説明書を参照してください。

Toyota Supra Connect アプリのみの機能となります。

目的地を車両に送信

検索した目的地の情報を車両に送信します。

送信した情報は、マイインフォとして車両に送信され、メッセージ

から確認できます。

メッセージ

リモートサービスから送信した情報を確認します。

メッセージを表示する

Toyota Supra Command から：

- 1 「Connected Serv.」
- 2 「メッセージ」

ステータス

ステータスシンボルはメッセージのステータスを表します。

シンボル	意味
	既読のメッセージ。
	未読のメッセージ。

メッセージリストをフィルターする

- 1  ボタンを押します。
- 2 「メッセージをフィルター」
- 3 希望する項目を選択します。

●「全て」

全てのメッセージを表示

●「未読」

ステータスが「未読」のメッセージのみ

●「走行開始後」

エンジン ON をした後に受信をしたメッセージのみ

メッセージタイプに基づいて メッセージ リストをフィルター する

- 1 「フィルター」
- 2 「マイインフォ」
- Toyota Supra Connect アプリ、
または Toyota Supra Connect
ユーザーサイトから送信をした施
設情報やメッセージ

メッセージを削除する

- 1  ボタンを押します。
- 2 選択されたメッセージを削除し
ます：「メッセージ消去」

全てのメッセージを削除する：「メッセー
ジ全消去」

メッセージから目的地を設定する

- 1 目的地に設定したい「マイイン
フォ」のメッセージを選択しま
す。
- 2 住所を選択します。
- 3 「新規目的地に設定」

サービス更新

車両で利用可能な全サービスの手
動更新を開始します。

操作方法

Toyota Supra Command から：

- 1 「Connected Serv.」
- 2  ボタンを押します。
- 3 「Toyota Supra サービス更新」

メニューカスタマイズ

使用しない機能の項目をメニュー
に表示させないように設定するこ
とができます。

操作方法

Toyota Supra Command から：

- 1 「Connected Serv.」
- 2 「メニューカスタマイズ」
- 3 希望する項目を選択します。
- 4 コントローラーを左に傾けま
す。

参考情報

インデックス 80

インデックス

あ

アイポッド	43
Apple CarPlay、車両との接続	72

い

イコライザー	36
--------------	----

え

SOS コール	69
SOS ボタン	69
エマージェンシーコール	69
エンターテインメント、操作ボタン	34
エンターテインメント ソースの切り替え	34

お

オーディオ	40
オーディオ再生、Bluetooth	44
オーディオ再生、一時停止	34
音楽ライブラリ	40
音質、サラウンド再生	36
音声案内、ナビゲーション	21
音声コントロール	59
音声出力	34
音声による目的地入力	6
音声認識	65
音量設定	37

か

CarPlay	72
CarPlay、車両との接続	72
会議、複数の通話者との通話を参照 ..	56
回避エリア	24
カレンダー	62

き

記憶された目的地、目的地検索	8
給油の推奨	19

く

クイック検索	6
--------------	---

け

携帯電話、操作	54
経由地、ナビゲーション	14
経由地を通るルート案内、ルートを参照	14
現在地をメモリーする	8

こ

高音、音質設定	36
更新、ナビゲーション地図	74
交通情報	27
交通情報、設定	28
交通情報、ラジオ	39
交通情報を参照	27
ゴング、音量設定	37

さ

サーバーを介したボイス検知	65
サウンド	36
サラウンド再生	36

し

自宅住所、ナビゲーション	8
自宅住所を登録する	8
住所からの目的地入力	12
周辺施設、目的地検索	11
ショート メッセージ	59

す

音声操作、ナビゲーション	21
スピード ボリューム、音量設定	37
スプリット スクリーン、ナビゲーション	26
スマートフォン、操作	54

せ

設定、ナビゲーション	23
------------------	----

そ

ソフトウェア アプリケーション、 CarPlay	72
-----------------------------------	----

た

代替ルート	18
タスク	63
探索条件の設定、ルート	18

ち

地域からの目的地入力	12
地図画面、機能	22
地図更新	74
地図スクロール、地図画面の機能を参照	22
地図を呼び出す、ナビゲーション	16

つ

通話切り替え、複数の通話者との通話を 参照	56
--------------------------------	----

て

低音、音質設定	36
ディクテーション機能	65
テレビ	49
電話	54
電話、操作	54
電話会議、複数の通話者との通話を参照	56
電話番号、目的地検索	12

と

Toyota Supra Connect	68
Toyota Supra Connect サービス	71

な

ナビゲーション システム	4
ナビゲーション、スプリット スクリーン	26
ナビゲーションに関するヘルプ、よくあ る質問を参照	31

は

バランス、音質設定	36
ハンズフリー ユニット	56

ひ

ビデオ再生	48
標準設定、ナビゲーション	23

ふ

フェーダー、音質設定	36
プリセット放送局	39

ほ

ボイス メモ.....	64
放送局、AM/FM	38
放送局を登録する	38

ま

マークリスト、記憶された目的地を参照	8
マップコード、目的地検索	13

め

メモ	64
メモリー地点、記憶された目的地を参照	8

も

目的地検索	6
目的地設定	6
目的地に関する機能	13
目的地履歴とスタート地点、履歴を参照	7

や

矢印表示、サブ画面	26
-----------------	----

よ

予定、カレンダーを参照	62
読み上げ	66

ら

ラジオ	38
ラジオ、エンターテイメント ソースの切り替えを参照	34
ラジオ、音量を調節する	34

ラジオ、消音に切り替える	34
ラジオ、操作ボタン	34
ラジオのサウンド設定	36

り

リモートサービス	75
リモートメンテナンス	71
履歴、目的地の入力	7

る

ルート マグネット、ルートを変更するを参照	18
ルート、経由地を通るルート案内	14
ルート案内	17
ルート案内情報、ルート	23
ルート案内情報のリスト、スプリット スクリーン	26
ルート案内情報を参照	23
ルート情報、ナビゲーションを参照 ..	19
ルート情報を変更する	20

れ

連絡先	57
-----------	----

ろ

ロードサイドアシスト	71
------------------	----

A

AM/FM 放送局	38
Apple CarPlay の準備、操作	72

B

Bluetooth オーディオ	44
-----------------------	----

C

CarPlay、操作 72

E

E メール 61

F

FM/AM 放送局 38

G

GPS ナビゲーション、ナビゲーション
システムを参照 4

I

iPod 43

S

SMS、ショート メッセージを参照 ... 59

T

TRF、交通情報 39

TV 49

U

USB メモリーによるルートのインポー
ト 15

USB/ オーディオのインターフェース
..... 43

V

VICS、交通情報を参照 27

B-CAS カード使用許諾契約約款 (KB0007D) (取り交わし済み文章)

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するための IC カード (B-CAS (ビーキャス) カード) (以下「カード」といいます) が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ (以下「当社」といいます) が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器 (一般社団法人電波産業会 (ARIB) の技術的基準に適合した受信機器) に内蔵されます。

当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。

この約款は「特別内蔵用 B-CAS カード」と「特別内蔵用 mini B-CAS カード」に適用されます。

第1条 (カードの使用目的)

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第2条 (カードの所有権と使用許諾)

このカードの所有権は、当社に帰属します。
2. この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第3条 (カードの故障交換等)

カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店 (以下「メーカー等」といいます) に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。

2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第1条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第4条 (カードの交換依頼)

カードの不具合やシステム変更 (バージョンアップ) 等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第5条 (契約の終了)

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第6条 (禁止事項)

第1条のカードの使用目的に反する機器 (例えば著作権保護に対応していない機器) に、このカードを使用することはできません。

2. このカードを使用して、BS デジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。

3. カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第7条 (損害賠償)

お客様が第6条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第8条 (約款の変更)

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ (<http://www.b-cas.co.jp>) に掲載します。

お問い合わせ、ご相談は下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

受付時間についてはホームページにてご確認ください。
https://faq.toyota.jp/?site_domain=default#contact

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証(車検証)を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
https://toyota.jp/privacy_statement/ にて
掲載しております。

「リコール等情報」については、
<https://toyota.jp/recall/index.html> にて
掲載しております。

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



トヨタ自動車株式会社
<https://toyota.jp>



M 9A469

Printed in Germany-2023年 3 月 1 日

2023年 3 月 7 日 初版

スーブラ

ナビゲーションシステム